

△注意:この頁は安全確保のために必ずお読みください。

SE-5MD/SE-500MD/SE-55MD/SE-50KS (J)

[本体部]

[アンプ部]

実用最大出力.....25W+25W(EIAJ 6Ω)
 周波数特性
 AUX.....20 Hz~20,000 Hz (+0 dB、-3 dB)

[チューナー部]

FMチューナー部
 受信周波数範囲.....76MHz~108MHz

AMチューナー部

受信周波数範囲.....531kHz~1,629kHz

[MDレコーダー部]

読み取り方式.....非接触光学式読み取り
 (半導体レーザー)
 記録方式.....磁界変調オーバーライト方式
 音声圧縮方式.....ATRAC
 D/Aコンバーター.....1 Bit
 ワウ・フラッター(EIAJ).....測定限界以下

[CDプレーヤー部]

読み取り方式.....非接触光学式読み取り
 (半導体レーザー)
 D/Aコンバーター.....1 Bit
 サンプリング周波数.....8 fs (44.1 kHz)
 周波数特性(EIAJ).....20 Hz~20 kHz
 ワウ・フラッター(EIAJ).....測定限界以下

[カセットデッキ部]

トラック方式.....4トラック2チャンネルステレオ
 録音方式.....交流バイアス(周波数:1.05kHz)
 ヘッド
 録音/再生ヘッド.....1
 消去用.....1
 モーター.....DCモーター ×1
 ワウ・フラッター.....0.2% (W.R.M.S.)
 早巻き時間.....約100秒(C-60)

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数.....AC100V, 50Hz/60Hz
 定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示).....70W
 待機消費電力.....2.2W
 最大外形寸法.....幅 200mm
 高さ 245mm
 奥行 300mm
 質量(重量).....5.9kg(正味)

[スピーカー部]

エンクロージャー.....ブックシェルフ型
 スピーカー構成
 ウーファー.....100mm コーン型
 ツイーター.....25mm ドーム型
 インピーダンス.....6Ω
 最大入力.....30W
 最大外形寸法
 幅.....140mm
 高さ.....245mm
 奥行.....225mm
 質量(重量).....2.6kg(1本)



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い
 予告なく変更することがあります。

●極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な
 性能が発揮できないことがあります。

Avino

マイクロ ハイファイ コンポーネントシステム

SE-5MD SE-500MD SE-55MD SE-50KS

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
 ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、

説明の通り正しくお使いください。
 また、取扱説明書は大切に保管して、必要になっ

たときに繰返してお読みください。
 本機は日本国内専用モデルですので、外国で使

用することはできません。

株式会社 ケンウッド
 KENWOOD CORPORATION



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

●商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室(東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9(ケンウッド青葉台第二ビル)
 (大阪) 電話(06) 357-5335 〒534-0024 大阪府都島区東野田町 1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)

●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
 最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

KENWOOD

B60-4003-00 00 (CH)(J) (MC) 9806

本機の特長

ミニディスク

MDレコーダーを標準装備

デジタルならではの高音質を実現するMDレコーダーを標準装備しています。CDからのデジタルコピーも簡単にできます。ディスクや曲に名前を登録してディスプレイに表示することや、曲順の並べ換えなど、多彩な機能を搭載しています。

CDプレーヤーとオートリバースカセットデッキを標準装備

MDレコーダーに加えCDプレーヤーとカセットデッキを搭載。さまざまな音楽ソースを楽しめる一体型マイクロステレオです。

便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能。

- ワンタッチ録音：キーを押すだけでCD 1枚または1曲を録音
- TWIN REC機能：CDからMDとテープへの同時録音
- プログラム録音：好きな曲を好きな順に録音

便利なタイマー機能

2系統のプログラムタイマー：

- タイマー再生、タイマー録音、AIタイマー再生の設定ができます。
- AI タイマー：タイマーオンの後、徐々に音量が大きくなります。

O.T.T.(Operate easy To use Timer)：

- 簡単に設定できて、1回限り働くタイマーです。
- スリープタイマー：おやすみのときに利用します。

自動放送局名表示機能

都道府県名を登録しておく、FM放送を受信しているときに、表示部にその放送局名が表示されます。



デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能(表示のみ)があります。各動作を示す表示部などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するとき、次の方法を行ってください。



DEMO OFF (デモンストレーション解除)：

"DEMO ON"中に"set/demo"キーを押す

DEMO ON (実行)：

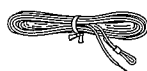
電源がオンの時に"set/demo"キーを押す(2秒以上)

- "DEMO ON"でチューナーの時、電波が弱いと"MUTE"がかかり音がでません。
- 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に"DEMO ON"になります。

付属品

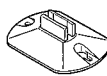
FM 室内アンテナ(1本)

スピーカーコード(2本)



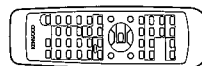
AM ループアンテナ(1個)

AMループアンテナスタンド(1個)



リモートコントロールユニット(1個)

リモコン用乾電池(R6/SUM-3)(2本)



目次

△のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

SE-5MD/SE-500MD/SE-55MD/SE-50KS (J)

安全編

安全にお使いいただくために

△安全上のご注意(必ずお読みください) 4

準備編

音を出す前に

△接続のしかた	8
△システムと付属品の接続	8
△他の機器(市販品)との接続	10
各部のなまえと働き	11
表示部	11
本体部	12
リモコン部	14
リモコンの使いかた	15

基礎編

「聴く」、「録る」の基本です

音を出してみましょう	16
基本的な使いかた	16
CDを聴く	18
CD-TEXT機能について	19
MDを聴く	20
テープを聴く	24
放送を聴く	26
録音してみましょう	30
MDに録音する	30
テープに録音する	32

応用編

楽しさが広がります

CDを聴く	34
曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)	34
繰り返し聴く(リピート再生)	35
ランダム再生を楽しむ	36
MDを聴く	37
曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)	37
繰り返し聴く(リピート再生)	38
便利な録音あれこれ	39
録音のタイプを選ぶ	39
ワンタッチ録音(CD→MD/CD→TAPE)	40
MDとテープに同時録音(TWIN REC)	41
プログラム録音(CD→MD/CD→TAPE)	42
プログラム録音(MD→TAPE)	43

MDの編集機能	44
編集機能のタイプを選ぶ	44
ミニディスクや曲にタイトルをつける	45
タイトルを変更、消去する	47
曲順をまとめて入れ替える(QUICK MOVE)	48
曲順を1曲ずつ入れ替える(TRACK MOVE)	50
曲を分ける(TRACK DIVIDE)	52
曲をつなぐ(TRACK COMBINE)	53
1曲消す(TRACK ERASE) または	
全曲消す(ALL ERASE)	54
音質の調整	56
音質の調整	56
バランスの調整	56
AUXインプットレベルの調整	57
時刻合わせ	58
タイマーを使う	59
O.T.T.を設定する	59
プログラムタイマーを設定する	60
O.T.T.とプログラムタイマーの実行と解除	62
おやすみタイマー(SLEEP)	62

知識編

知っている则何かと便利です

知っておきましょう	63
メンテナンス	63
参考	63
ディスクの取り扱い方	64
カセットテープについてのご注意	65
デジタル録音とSCMSについて	65
故障かな?と思ったら...	66
保証とアフターサービス(必ずお読みください)	71
△定格	72



安全上のご注意には、この製品を正しく安全にご使用いただくための注意事項がまとめられています。ご使用の前に、必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のオーディオ機器全般についての内容も記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

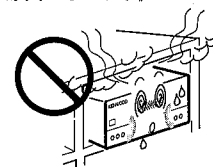
指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。

- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
 - 横倒し、おおむね、逆さまに置かない。
 - 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
- 《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》



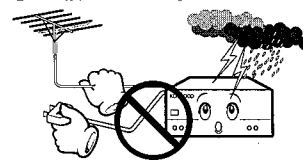
風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》



乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》



異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音が出る場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



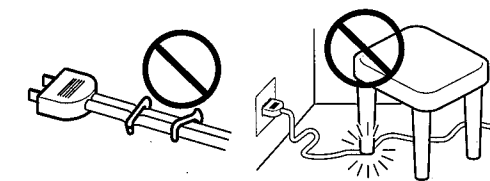
電源プラグをコンセントから抜け

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。

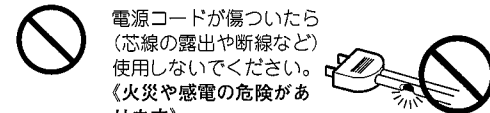
- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
 - 敷物の下に電源コードを隠さない。
 - 電源コードをステープルや釘などで固定しない。
 - 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。
- 《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



電源コードが傷ついたら

(芯線の露出や断線など) 使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》

● 修理をご依頼ください。



機器の内部に水を入れない

花瓶やコップなど水の入った容器を機器の上に置かないでください。内部に水が入った場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



水ぬれ禁止



電源プラグをコンセントから抜け



機器の内部に異物を入れない

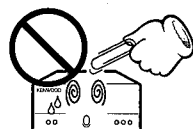
内部に異物が入った場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜く



落下した機器は使わない

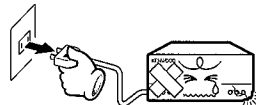
落としたり、カバーやケースがこわれた機器を使用しないでください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜く



ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご相談ください。



分解禁止



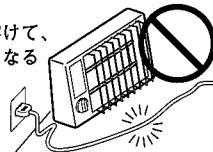
注意



電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。

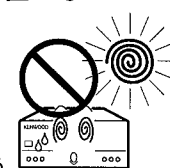
《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

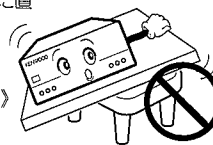
《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》



不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》



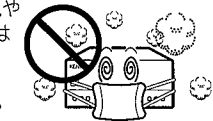
電源プラグをコンセントから抜く



湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

《火災や感電の原因になることがあります》



音量に気をつけて

はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。

《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

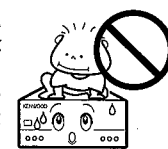
《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》



機器に乗らない

お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。

《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》



指をはさまない

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。

《けがの原因になることがあります》



指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。

《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》

- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。



電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。

また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。

次のことを、必ず守ってください。



- 極性表示(プラス "+"とマイナス "-")の向き)に注意し、表示通りに入れてください。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。



- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



電源プラグは清潔に

1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。

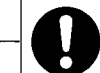
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》



電源プラグの抜き差しは

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

《感電の原因になることがあります》

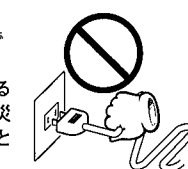
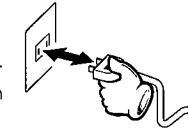


電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。



コードを引っ張らないでください。

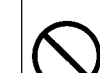
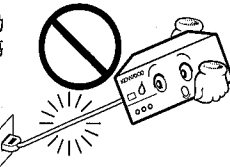
《コードの部分を引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》



機器を移動させる際は

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。

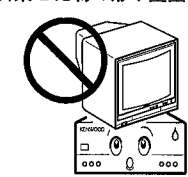
《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》



指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物を乗せないでください。

《乗せた物の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物の形や重量によつては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》



お手入れの際は

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したままの作業は、感電の原因になることがあります》

電源プラグをコンセントから抜く

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。

《内部にほこりがたまつたまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

システムと付属品の接続

本機と、付属品の接続方法です。

注意 接続のご注意

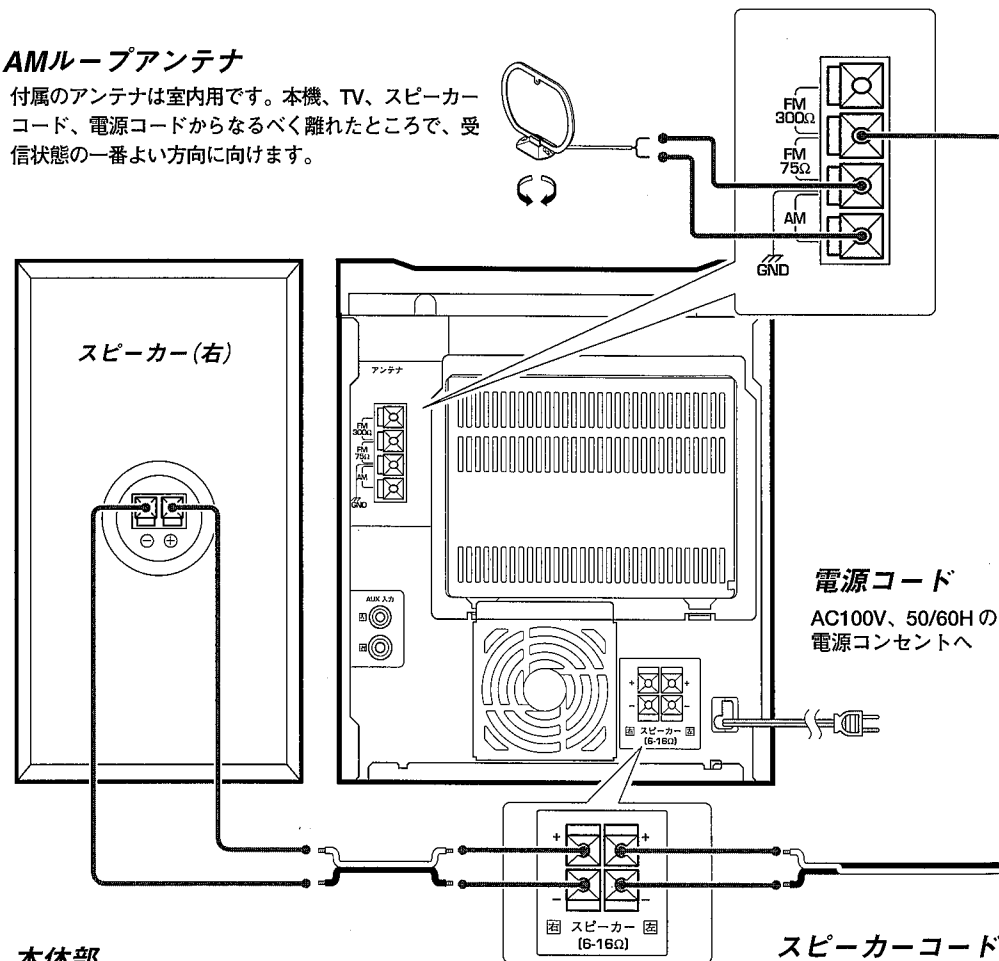
機器の接続は、図のように行ってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

注意 放熱ファンについて

電源をオンにすると放熱ファンが回転します。確実に放熱をするために本機の背面と壁の間隔は十分(10cm以上)に確保してください。

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。



本体部

スピーカーコード

スピーカー部

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな?と思ったら..."を参照してマイコンをリセットしてください。

→66

FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

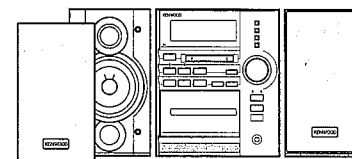
- ① コード先端の被覆を取り、ねじる。
- ② アンテナ端子に接続する。
- ③ 受信状態のよい位置をさがす。
- ④ 固定する。

スピーカーの設置とテレビについて

1. このシステムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型(EIAJ規格)ですが、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分~30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離れてご使用ください。
2. 近くに磁石など磁気が発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置にご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがオフのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。



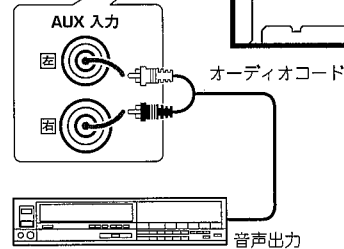
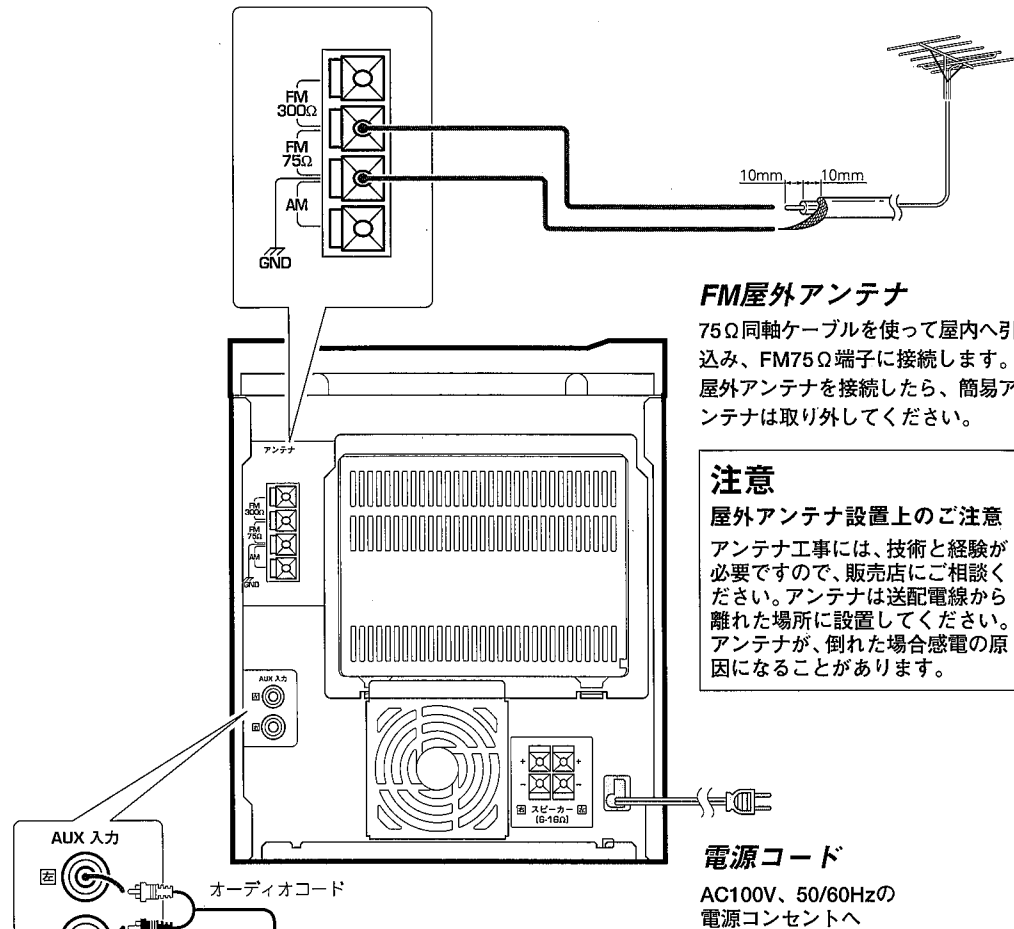
1. スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください。
2. 左右を逆にしたり、極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。
3. すべての接続コードは確実に差し込んでください差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
4. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずして接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。



他の機器(市販品)との接続

注意 接続のご注意

機器の接続は、図のように行なってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。



ビデオデッキまたは、
RIAAイコライザーアンプ内蔵の
レコードプレーヤー/P-110(別売)
など

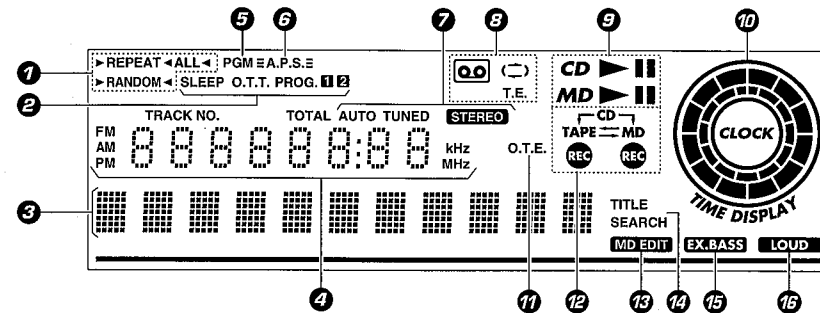


1. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
2. すべての接続コードは確実に差し込んでください差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
3. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かず接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。

各部のなまえと働き

表示部

本文中のディスプレイ表示は、概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。



- 1 CD、MD関連表示
- 2 タイマー関連表示
- 3 文字情報表示部(ドット表示部)
入力切換、音量レベル、ディスク/トラックタイトル、など色々な文字情報を表示します。
- 4 文字情報表示部
周波数表示、時間表示、トラックNo、プログラムNo、などを表示します。
- 5 PGM(プログラム)表示
- 6 オートパワーセーブ表示
- 7 チューナー関連表示部
- 8 カセットデッキ、リバースモード、テープイコライザー表示

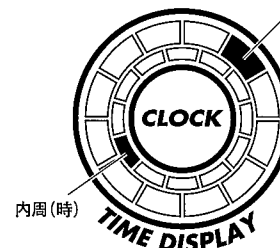
- 9 CD、MD再生/一時停止表示
CDまたはMDの再生、一時停止の状態を表示します。
- 10 CLOCK表示部
時刻表示や、ボリューム調整時とバランス調整時等の表示を行います。
- 11 O.T.E. (One Touch Edit)表示部
ワンタッチ録音をするときに表示されます。
- 12 TAPE REC、MD REC表示部
- 13 MD EDIT表示部
- 14 TITLE SEARCH表示部
- 15 EX.BASS表示部
- 16 LOUD表示部

CLOCK表示部について

CLOCK表示部は時刻の表示、ボリュームレベル調整やバランス調整時の表示として機能します。
外周部分と内周部分が時刻に合わせて点灯してゆきます。
ボリュームレベル調整やバランス調整時には、"VOLUME/multi control (up/down)"の調整量に合わせて、表示部の外周部分が変化します。

時刻表示例：8時7分

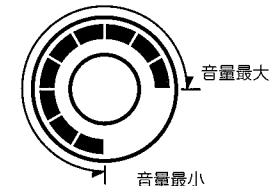
外周(分)
(5分単位で表示)



スタンバイ状態の時に停止(■)キーを押すと、5秒間時刻を表示します。

ボリュームレベル調整時

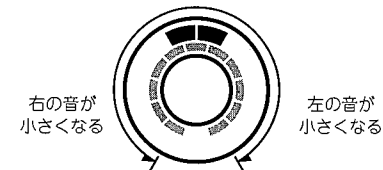
ボリュームレベルはCLOCK表示部の外周部で表示します。



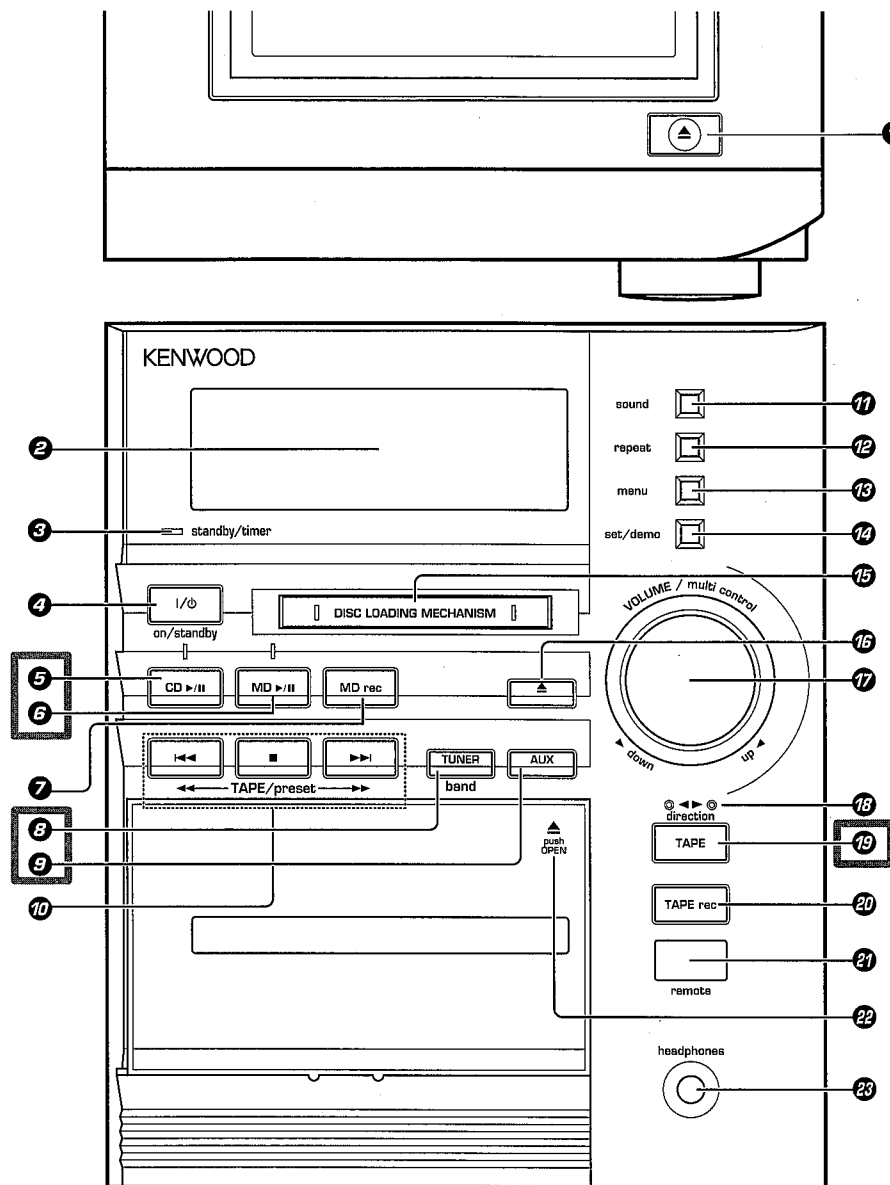
バランス調整時

CLOCK表示部の外周部分でバランスを表示します。

(表示例：センター)



本体部



ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。
スタンバイ状態のとき、 内の各操作キーを押すと、すぐに再生(受信)します。

① CD 蓋オープンキー(▲)

CDプレーヤーの上蓋を開きます。

② 表示部

③ "standby/timer"表示灯

電源がスタンバイ状態になると点灯します。

赤：通常のスタンバイ状態

緑：OFF 待機

：プログラムタイマー待機

④ "on/standby"キー (I/φ)

電源のオン/スタンバイを切り換えます。

⑤ CD再生/一時停止キー (CD ▶/II)

CDプレーヤーに入力を切り換え、再生を開始します。

CD再生中に押すと一時停止をします。

⑥ MD再生/一時停止キー (MD ▶/II)

MDレコーダーに入力を切り換え、再生を開始します。

MD再生中に押すと一時停止をします。

MD録音中に押すと録音一時停止をします。

⑦ MD録音キー (MD rec)

MDで録音をするときに使います。

⑧ "TUNER band"キー

チューナーに入力を切り換えます。

放送バンドを切り換えます。

⑨ 外部入力キー (AUX)

AUX (アナログ外部入力端子)に接続した入力ソースを
聴くときに使います。

⑩ 曲の飛び越し/早送り、早戻しキー (◀◀, ▶▶/◀▶, ▶◀)

CD, MDのとき： → 19 → 21

スキップ(曲の飛び越し)キーとして使います。

TAPEのとき： → 25

早送り、早戻しに使います。

チューナーのとき： → 26

記憶させた放送局を受信するときに使います。

その他、MDの編集、トラックNo.選択、タイトル入

力時の文字選択に使用します。

停止キー (■)

⑪ "sound"キー

EX. BASS再生、LOUDNESS再生を切り替えます。

⑫ "repeat"キー

CD, MDの繰り返し再生のときに使います。

⑬ "menu"キー

"VOLUME/multi control (up/down)"つまみの機能
を切り換えます。

時刻合わせをするときに使います。

⑭ "set/demo"キー

"VOLUME/multi control"つまみで選択した項目の設
定や確定などに使います。

デモンストレーションのオン/オフに使います。

⑮ ミニディスク挿入口

⑯ MDイジェクトキー(▲)

MDを取り出すときに使います。

※ ⑰ "VOLUME/multi control (up/down)"つまみ → 16

通常は音量の調節に使います。

⑱ "direction"表示 (TAPE)

⑲ テープ再生キー (TAPE)

⑳ テープ録音キー (TAPE rec)

録音を始めます。録音中に押すと、約4秒間の無音部分
(空き)を作ってから一時停止します。

㉑ リモコン受信部

㉒ カセットホルダー

テープを出し入れするときは、"▲ push OPEN" の
マークを押します。

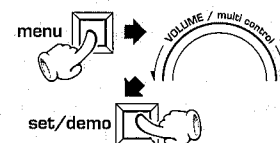
㉓ "headphones"端子

ステレオミニプラグのヘッドフォン(別売)を接続しま
す。

※ VOLUME/multi control (up/down) つまみについて

廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

"menu"キーで機能を切り換え"VOLUME/multi control
(up/down)"つまみを廻して項目を選びます。
"set/demo"キーで各設定項目の設定や確定をします。

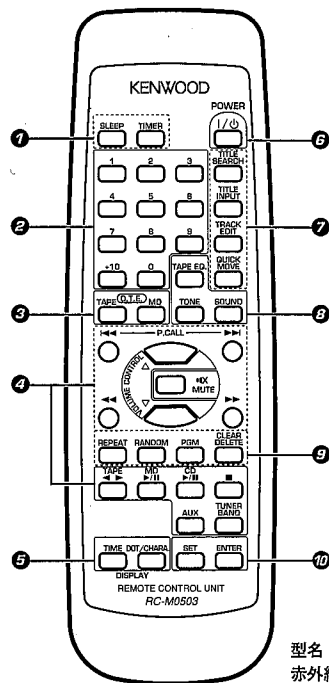


TAPE RVS.	?	→ 25
REC MODE	?	→ 41
ケンメイセッテイ	?	→ 28
(入力切換がチューナーの時のみ)		
AUX LEVEL	?	→ 57
(入力切換が外部入力の時のみ)		
BALANCE	?	→ 56
TIMER SET	?	→ 59
A.P.S. SET	?	→ 17

● 5秒間操作しないと通常モードに戻ります。

リモコン部

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。



型名：RC-M0503
赤外線方式

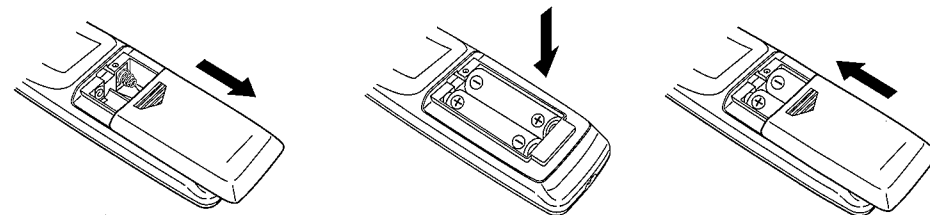
- ① **SLEEP**キー
おやすみタイマーを設定するときに使います。
TIMERキー
タイマーを選択するときに使います。
- ② **数字**キー
CDまたはMDの曲を選ぶときや、TUNERのプリセットコールキーとして使います。
- ③ **TAPE O.T.E. キー** / **MD O.T.E. キー** → [40]
CDをワンタッチでテープまたはMDに録音できます。CDの再生中に押すと、そのとき再生している曲だけを、停止中に押すと、CDの全曲をMDまたはテープへ録音します。
- ④ **基本操作**キー
◀◀, ▶▶キー (プリセットコール / スキップ)
CD, MDのとき： → [19] → [21] → [45]
スキップ(曲の飛び越し)に使います。
MDの編集、文字選択などにも使用します。
チューナーのとき： → [26]
記憶させた放送局を受信するときに使います。
◀◀, ▶▶キー (早送り、早戻し)
CD, MD, TAPEのとき： → [19] → [21] → [25] → [47]
早送り、早戻しに使います。
MDにタイトル入力時はカーソルの移動に使います。
チューナーのとき： → [26]
放送局の選択に使います。

- VOLUME CONTROL (Δ, ▽) キー**
MUTEキー
一時的に音を消したいときに使います。
- TAPE** ◀ ▶ キー
MD ▶ / ◀ ▶ ▶ キー
CD ▶ / ◀ ▶ ▶ キー
停止キー (■)
AUXキー
TUNER BANDキー
- ⑤ **TIME** キー
CDとMDの再生時間などの表示を切り換えます。
DOT/CHARA. キー → [23]
ドット表示部の表示モードを切り換えます。
- ⑥ **POWER (I/⏻) キー** → [16] → [62]
電源のオン/スタンバイを切り換えます。
タイマーの実行/解除をするときに使います。
- ⑦ **TITLE SEARCH**キー → [22]
MDのタイトルを探すときに使います。
TITLE INPUTキー → [45]
MDにタイトル入力をするときに使います。
TRACK EDITキー → [50] → [52] → [53]
MDの曲を編集するとき、曲の入れ替え消去などに使います。
QUICK MOVEキー → [48]
MDの曲順の入れ替えをするときに使います。
- ⑧ **SOUND** キー → [17]
EX. BASS再生、**LOUDNESS**再生を切り替えます。
TONE キー → [56]
音質の調整に使います。
TAPE EQ. キー → [25]
テープコライザーをオンにするときに使います。
- ⑨ **CD, MD 関連**キー
(CD, MD共用のキーは、入力切り換えに応じて、CD、MDのうちの、選ばれている側に対して働きます。)
REPEATキー (CD, MD) → [36] → [38]
繰り返し再生するときに使います。
RANDOMキー (CD) → [36]
CDの曲順を順不同に再生します。
PGMキー (CD, MD) → [34] → [37]
曲順をプログラムするときに使います。
チューナーのとき： → [27]
"AUTO"(オート選局、ステレオ受信)とマニュアル(マニュアル選局、モノラル受信)の切り換えを行います。
CLEAR DELETEキー (CD, MD) → [34] → [37] → [47]
プログラムした曲順を取り消します。
タイトル入力するとき、1文字を削除します。
- ⑩ **SET**キー → [45]
MDの編集処理の設定や、"VOLUME/multi control"つまみで選択した項目の設定や確定などに使います。
ENTER キー → [46]
MDの編集処理の実行や、入力したタイトルの確定などに使います。チューナーのプリセットメモリの確定に使います。

リモコンの使いかた

電池の入れかた

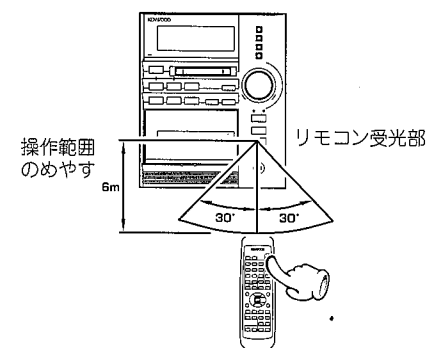
- ① カバーを開く
- ② 電池を入れる
- ③ カバーを閉める



● 単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの**POWER (I/⏻)**キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。
電源をオフにするときは、再度**POWER (I/⏻)**キーを押します。
"standby/timer"表示灯のみが点灯するスタンバイ状態になります。

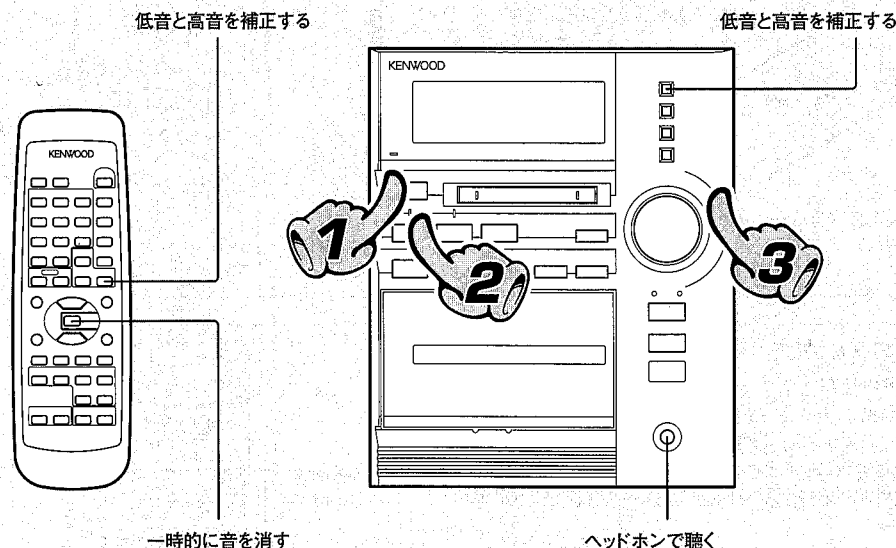


- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて押してください。



1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

基本的な使いかた



低音と高音を補正する

低音と高音を補正する

一時的に音を消す

ヘッドホンで聴く

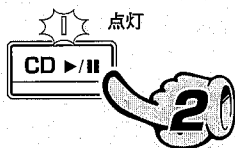
1. 電源をオンにする(オフにする)

電源がオンのときに"on/standby"キー(1/0)を押すとオフになり、"standby/timer"表示灯が点灯します。

- CD ▶/II, MD ▶/II, AUX, TAPE キーまたは、"TUNER band" キーを押しても、電源がオンになり、再生(受信)します。(ワンタッチオペレーション機能)
- CD, MD, TAPEを選んだとき、すでにディスクやテープが入っている場合は、再生が始まります。



例: CDを選ぶ時

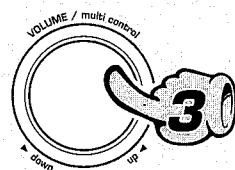


2. 聴きたいものを選ぶ

TUNER (放送) → 26
CD → 18
MD → 20
TAPE → 24
AUX (外部入力) → 10

- CD ▶/II, MD ▶/II, AUX, TAPE キーまたは、"TUNER band" キーを押すと、その入力に切り換わります。

3. 音量を調節する



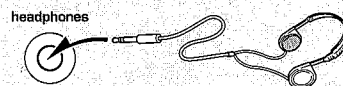
音量を下げる

音量を上げる

- 早く回すと、変化量が大きくなります。(AI ボリューム機能)
- 表示部に目安の数字が表示されます。(CLOCK表示部でも表示されます。)

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグを"headphones"端子に差し込む



- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

一時的に音を消す(リモコンのみ)



点滅

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

低音と高音を補正する



または

押すたびに切り換わります。

- ① "EX. BASS" (エクストラバス) 点灯
音量にかかわらず低音域を補正
- ② "LOUD" (ラウドネス) 点灯
音量に合わせて低音域を補正
(小音量時に有効です)
- ③ 消灯.....サウンドモード解除

- "LOUD"または"EX. BASS"表示が点灯中に音質の調整をすると表示は消灯し解除されます。

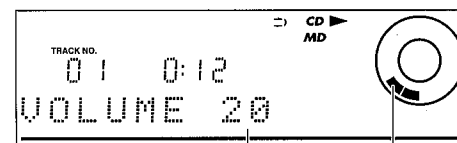
→ 56

"standby"状態について

本機の"standby/timer"表示灯が点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電が行なわれています。これをスタンバイ状態といいます。このときは、リモコンで本機をオンできます。



CDを選んだとき

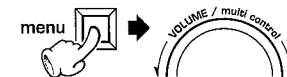


音量の表示

AUTO POWER SAVE機能について

電源がオンで、CD、MD、TAPEのすべてが停止状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフになる機能です。切り忘れたときなどに便利です。この機能は、次の操作で、オン/オフを選べます。

① "A.P.S. SET?"を選ぶ



("?" マークが点滅中に "set/demo" キーを押す)

② 選択する

オートパワー
セーブオフオートパワー
セーブオン

③ 確定する



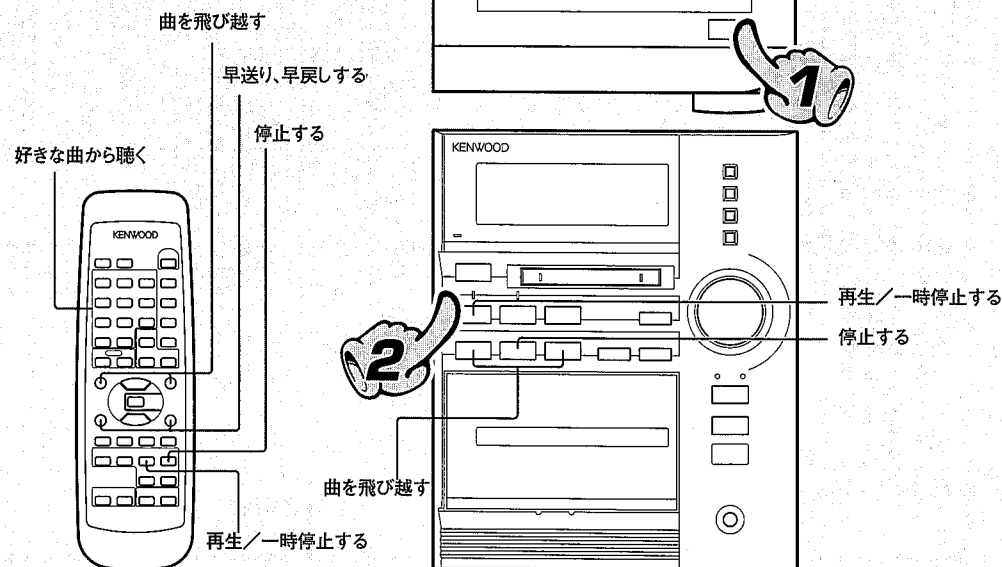
- 入力切換がTUNER, AUXのときは、音量がゼロまたはMUTEがオンのときに限り働きます。

CDを聴く

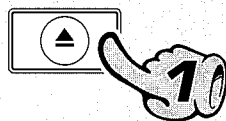
音を出してみましょう

SE-5MD/SE-500MD/SE-55MD/SE-50KS (J)

CDプレーヤーにあらかじめディスクを入れておくと、CD ▶/IIキーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。



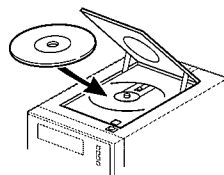
上蓋を開ける



1. ディスクを入れる

- ① 上蓋を開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ 上蓋を閉める

ラベル面を上にする



2. 再生をはじめる



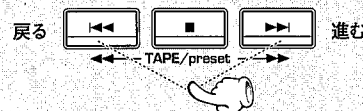
ディスク取扱上のご注意

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどの、糊がはみ出したり、剥がした跡のあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、ディスクが取り出せなかったり、故障する原因となることがあります。

音を出してみましょう

SE-5MD/SE-500MD/SE-55MD/SE-50KS (J)

曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ◀◀ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- リモコンの ◀◀、▶▶ キーでも操作できます。

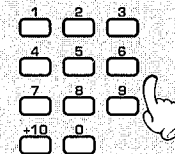
早送り・早戻しする (リモコンのみ)



- 手を離れたところから再生します。

好きな曲から聴く (リモコンのみ)

曲を選ぶ



数字キーを押す順序は

23曲目なら +10 +10 3

40曲目なら +10 +10 +10 +10 0

一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

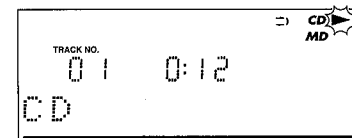
再生を止める



CD TEXT 機能について

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたテキスト情報（ディスクまたは曲のタイトル）が自動的に表示されます。

- 再生面には、触れないようにします。
- ディスクを斜めに置くこと故障の原因となります。



- CD-TEXT対応のディスクでは、タイトルが表示されます。
- 数秒後に1曲目から再生します。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

CDプレーヤーの時間表示について (リモコンのみ)

TIME キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

- ① 1:23 (再生中の曲の経過時間)
- ② - 2:37 (再生中の曲の残り時間)
- ③ TOTAL 23:45 (ディスク全体の経過時間)
- ④ TOTAL - 36:15 (ディスク全体の残り時間)

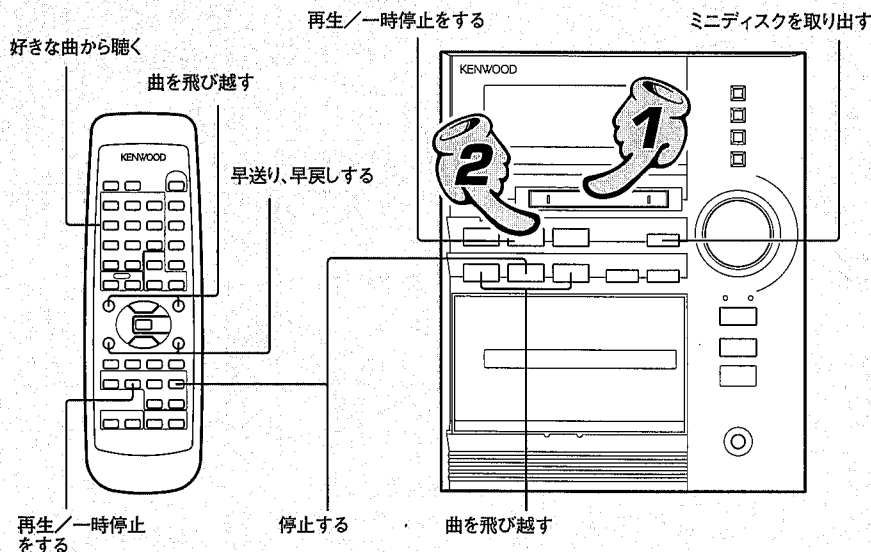
- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①と②のみ表示します。

MDを聴く

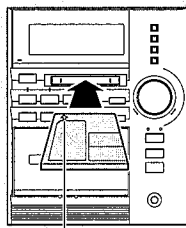
音を出してみましょう

SE-5MD/SE-500MD/SE-55MD/SE-50KS (J)

MDレコーダーにあらかじめミニディスクを入れておくと、MD▶/II キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。



1. ミニディスクを入れる



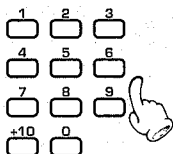
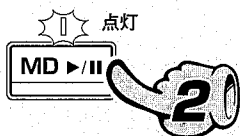
矢印の方向に入れる

ミニディスクを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

- ディスクにディスクタイトルが記録されているときは、ディスクタイトルが表示されます。

注意 スタンバイ状態時は、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

2. 再生をはじめる



1曲目から聴く場合

- 数秒後に、一曲目から再生します。
- 再生中は、トラックタイトルが記録されている場合は、各曲の最初にトラックタイトルを表示します。

曲を選ぶ場合

数字キーを押す順序は

23曲目なら

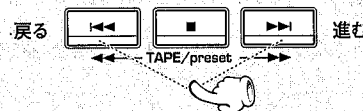
+10 +10 3

40曲目なら

+10 +10 +10 +10 0

- "PGM"表示が点灯しているときは、MDを停止させリモコンのPGMキーを押して消灯させてください。
- "READING"の点滅中にミニディスクにないトラックナンバーを選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。

曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- リモコンの◀◀、▶▶キーでも操作できます。

早送り・早戻しする(リモコンのみ)



- 手を離れたところから再生します。

一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める



ミニディスクを取り出す



- ミニディスクが排出されます。

表示が変わります



ディスクタイトル

MDプレーヤーの時間表示について(リモコンのみ)

TIME キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

①	1:23	(再生中の曲の経過時間)
②	- 2:37	(再生中の曲の残り時間)
③	TOTAL 23:45	(ディスク全体の経過時間)
④	TOTAL - 36:15	(ディスク全体の残り時間)

モノラル録音されたミニディスクについて

本機は、モノラルモードで録音されたミニディスクも再生できます。モノラルモードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、再生時間(記録時間)はステレオモード時の約2倍(最長148分)になります。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

聴きたい曲をタイトルで探す(タイトルサーチ)

録音用ミニディスクの場合、ミニディスクに収録されている曲のタイトルをあらかじめ入力しておく、聴きたい曲のタイトルで探すことができます。

- 45

① 入力切換をMDにする



② 停止する



③ "PGM"表示を消灯させる



④ TITLE SEARCHキーを押す



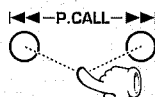
(中止するときは、もう一度TITLE SEARCHキーを押します)

⑤ 聴きたい曲名(タイトル)を選ぶ



トラック番号が
下がる

トラック番号が
上がる



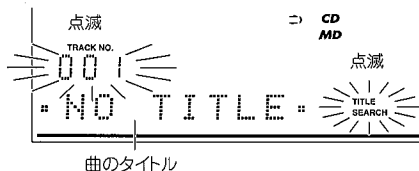
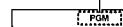
⑥ 再生する



プログラム

●"PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

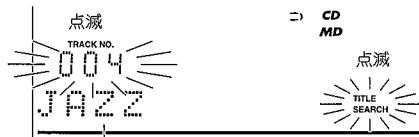
消灯させる



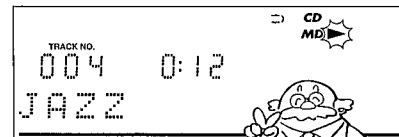
曲のタイトル

●タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"NO TITLE"が表示されます。

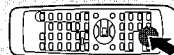
●本体の ◀▶ キーでも曲を選ぶことができます。



◀スクロール表示



DOT / CHARA. キーについて



CD TEXT 対応ディスクやMDのタイトルが、ドット表示部に表示されない場合に押すと、表示がスクロールして、表示されていた部分を確認できます。

MDの場合、ドット表示部の表示モードを切り換えることができます。

CD-TEXT対応ディスクとMDのとき

(停止中に操作します)

ディスクタイトルをスクロール表示

World Music

(再生中に操作します)

トラックタイトルをスクロール表示

New York: Bi

MDのとき

(停止中、再生中に操作します)

押すたびに切り換わります。

① タイトル表示

KENWOOD

② タイトルをスクロール表示

KENWOOD

(スクロール表示後①に戻ります)

③ ②のタイトルスクロール表示中に押すと、MDの録音可能時間を表示

001 R54:32

(5秒経過すると①に戻ります)

●曲名(トラックタイトル)ならびにミニディスク名(ディスクタイトル)が登録されていない場合は、"NO TITLE"が表示されます。

●1曲も録音されていない場合、"BLANK DISC" と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます)

(MDに録音中に操作すると)

押すたびに切り換わります。

① 録音している入力ソースを表示
(CD-TEXT対応ディスクの場合は、タイトルを表示します。)

CD

② MDの録音可能時間を表示

001 R54:32

放送を聴く

放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。



チューナーバンド
"TUNER band"キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、受信状態になります。

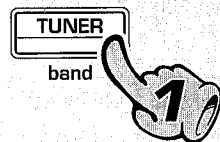
放送局をまとめて記憶させる

オート/マニュアル選局切換

プリセットコール

放送局を一つずつ記憶させる

放送局を選ぶ

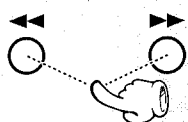


1. 放送バンドを選ぶ

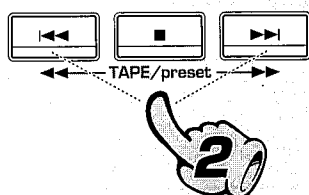
押すたびに切り換わります。

- ① FM
- ② AM

放送局を選ぶ



放送局を選ぶ



2. 放送局を選ぶ

放送局を記憶させていない場合

オート選局のとき：
押すたびに次の放送局を自動的に受信します。
マニュアル選局のとき：
受信するまで繰り返し押す。または、押したままにする。

放送局を記憶させた場合(プリセットコール)

キー(◀▶)を押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

▶|を押すと... 1 → 2 → 3 38 → 39 → 40 → 1
◀|を押すと... 40 → 39 → 38 3 → 2 → 1 → 40.....



放送局を一つずつ記憶させる(マニュアルプリセット) (リモコンのみ)

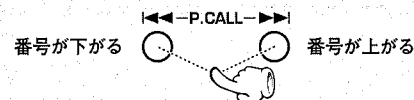
お好みの放送局だけを選んで1局ずつプリセットすることが出来ます。

① 受信中にENTERキーを押す



(「MEMORY」表示中に、手順②へ)

② 1~40の「プリセットナンバー」を選ぶ



③ もう一度、ENTERキーを押す



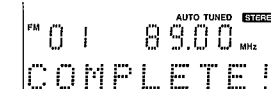
(続けてプリセットする場合は、放送局を選んで手順①, ②, ③を繰り返す)



「MEMORY」表示(約5秒間)

● 最大40局まで放送局を記憶できます。

● 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

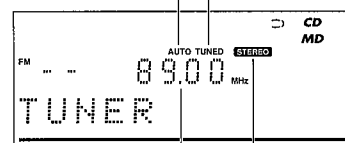


放送バンドの表示



受信すると「TUNED」が点灯

オート選局時点灯



周波数の表示

ステレオ受信時に点灯

- 押したままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。
- リモコンの数字キーでもプリセットコールができます。

選局方法の切り換えと再生モードについて (リモコンのみ)

押すたびに切り換わります。



- ① "AUTO" 点灯
(オート選局、ステレオ受信)
- ② "AUTO" 消灯
(マニュアル選局、モノラル受信)

電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選局にします。(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信となります)

● 通常はAUTO(オート選局、ステレオ受信)にしておきます。

チューナーの周波数表示について(リモコンのみ)

TIMEキーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

- ① FM 01 76.10 MHz (周波数表示)
- ② AM 8:45 (時刻表示)

テレビ放送(1ch~3ch)の受信について

周波数を次のように合わせます。

- 1chのとき.....95.75MHz
- 2chのとき.....101.75MHz
- 3chのとき.....107.75MHz

● テレビ放送はモノラル受信になります。



放送局をオートプリセットする(エリア別FM放送局名自動表示)

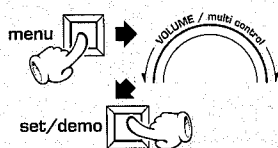
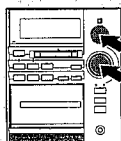
お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信出来る放送局が自動的にプリセット(記憶)されます。これらの放送局を受信すると、放送局名を(FM放送のみ)表示することが出来ます。

(放送局名リスト - 29)

① 入力切換をTUNERにする

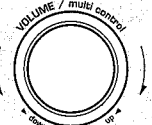


② "ケンメイセッテイ ?" を選ぶ



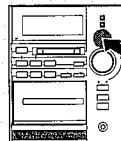
("?"マークが点滅中に"set/demo"キーを押す)

③ お住まいの都道府県名を選択する



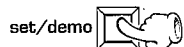
(5秒以内に手順④へ)

④ オートプリセットを始める



希望の放送局名が表示されないとき

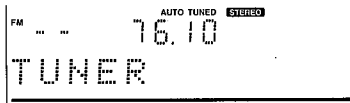
放送地域によって、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されないときは、"set/demo"キーを押すと放送局名を変えることができます。



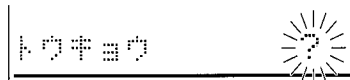
- 希望する放送局名が放送局名リストにない場合は、"set/demo"キーを押しても、表示は変化しません。



オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。放送局名表示は放送局名リストに載っている放送局のみに対応しています。

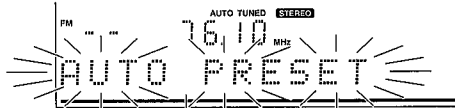


- 現在設定されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、"ケンメイ ミセッテイ?"と表示されます。



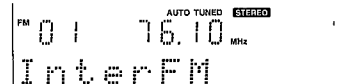
トウキョウを選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。



オートプリセット中はドット表示部に"AUTO PRESET"が点滅しています。

- オートプリセットをおこなうと、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。
- お住まいの地域によっては、選局された放送局が良好に受信できない場合もあります。
- オートプリセットが終了と、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。(受信中の周波数の放送局名が登録されていない場合は、"TUNER"とプリセットチャンネルを表示します。)



放送局名リスト

放送局		表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
	エフエム北海道	AIR - G'
北海道地方	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	FMセンダイ
	エフエム秋田	Co - much FM
	エフエム山形	FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FMイシカワ
	福井エフエム放送	FMフクイ

1998年7月現在

放送局		表示名
中部地方	静岡エフエム放送	K・MIX
	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E - Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
中国・四国地方	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
	エフエム山陰	V - air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	FMトクシマ
九州・沖縄地方	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FMコウチ
	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	FMナガサキ
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY - FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ1
	FEN オキナワ	FEN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

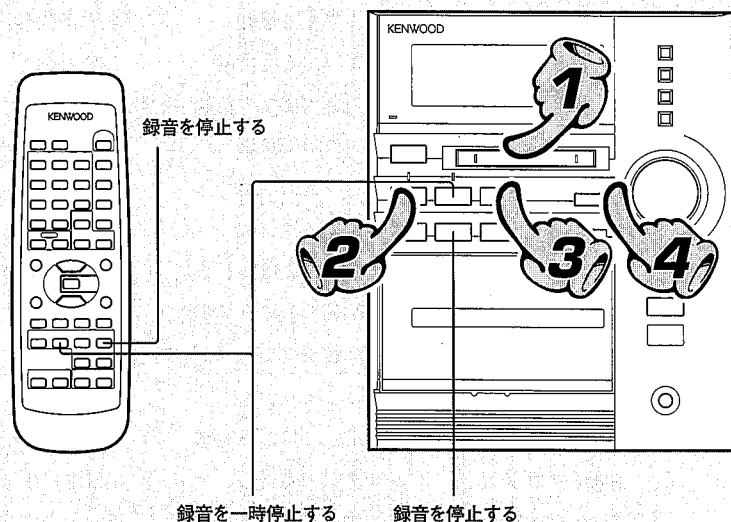
ミニディスク

SE-5MD/SE-500MD/SE-55MD/SE-50KS (J)

MDに録音する

MDの録音には、CDのデジタル信号がそのまま録音される"デジタル録音"と、放送などのアナログ信号をデジタルに置き換えてから録音する"アナログ録音"があります。

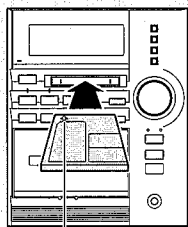
本機では、モノラルモードでの録音はできません。



録音を停止する

録音を一時停止する

録音を停止する



矢印の方向に入れる

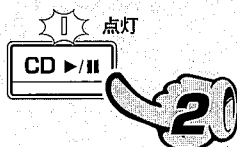
1. 録音の準備をする

- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする → [64]
- ② ミニディスクを入れる

注意 スタンバイ状態時は、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

MD以外を選ぶ

例: CDを選ぶ時



2. 何を録音するか選ぶ

TUNER (放送) : アナログ録音のみ
CD : デジタル録音のみ
TAPE : アナログ録音のみ
AUX : アナログ録音のみ

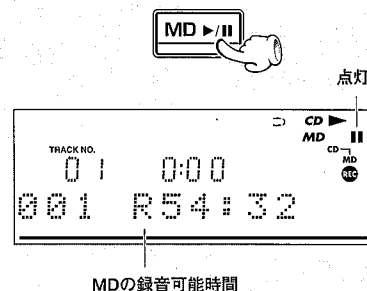
CD

文字情報表示部に録音する
入力ソースが表示されます

- すでにCDやTAPEが入っているときは、再生が始まりますので ■ キーを押して止めます。
- 入力切替がCDのときは、自動的にデジタル録音となります。

SE-5MD/SE-500MD/SE-55MD/SE-50KS (J)

録音を一時停止する



MDの録音可能時間

- 再び録音を始めるときは、もう一度押します。このとき、トラック番号は"1"繰り上がります。
- "MD rec"キーを押しても録音を始めることができます。

録音を停止する

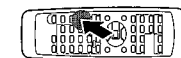


録音時のトラックナンバーについて

録音のとき、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号は自動的に"1"繰り上げます。(テープとチューナーの場合は、トラック番号は繰り上がりません。)また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、あとで削除出来ます。

もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中にTRACK EDITキーを押すと、その位置にトラック番号を付けることができます。

トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。



録音中に押す



- CDからのデジタル録音では、曲の切り替わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。



CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"1曲消す(TRACK ERASE)"または全曲消す(ALL ERASE)"を参照して削除してください。

→ [64]

3. 録音をはじめる

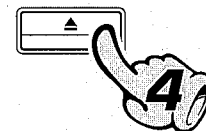
- ① "MD rec" キーを押す(録音ポーズ状態になります)
- ② 準備が出来ていれば、もう一度 "MD rec" キーを押す
- ③ 録音する音楽ソースを再生する

- CDからの録音は、"ワンタッチ録音"をお読みください。

→ [40]

4. 録音終了後、ミニディスクを取り出す

録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。



ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

ディスプレイのメッセージについて

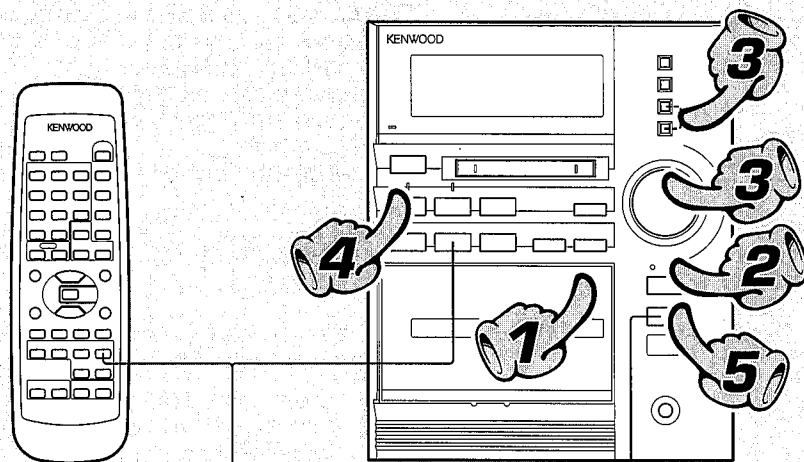
ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

- | | | |
|--------------------------------|------------------|----------------------|
| "DISC FULL" : ミニディスクが一杯になっている。 | → 不要な曲を消す。 | → [64] → [67] → [68] |
| "PROTECTED" : 誤消去防止つまみが開いている。 | → 閉める。 | → [64] → [68] |
| "PLAY ONLY" : 再生専用ミニディスクである。 | → 録音用ミニディスクを入れる。 | → [68] |

テープに録音する



本機はメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。



録音を停止する

録音を一時停止する

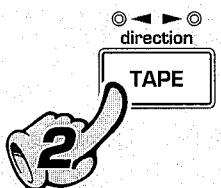
1. 録音の準備をする



- ① ドアを開ける
- ② テープを入れる
- ③ ドアを閉める

- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)のテープの種別は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。

2. テープの進む向きを選ぶ



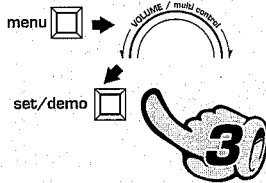
走行方向を逆にしたい場合

- ① 再生する
- ② もう一度キーを押す
- ③ 停止する

- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。
- テープの頭出し(録音を始める位置をさがすこと)をしておきます。

走行方向表示を確認する → 24

3. 録音条件を決める



リバースモードを選ぶ

→ 25

- 録音時は、テープイコライザーは使えません。

録音を一時停止する



点滅



- 録音中に再度、「TAPE rec」キーを押すと、4秒間の無録音部分を作り、一時停止します。(もう一度押すと録音を再開します)

録音を停止する



CDから録音するときのポイント

CDを録音するときは、カセットデッキを録音ポーズ状態にしておくと、音楽ソースの再生とカセットデッキの録音を同時に始めることができます(シンクロ録音機能)。

- ① 再生するCDを一時停止にする
- ② 録音したい曲をスキップキー(◀◀ ▶▶)で選ぶ(選んだ曲の初めで一時停止になります。)
- ③ カセットデッキを録音ポーズ状態にする("TAPE rec" キーを2回押す。)
- ④ CDの再生を始める(シンクロ録音がスタートします。)

- CDプレイヤーの停止キー(■)を押すと、録音を中止します。
- MDからも同様の手順でシンクロ録音できます。

TAPE以外を選ぶ

例:CDを選ぶ時



4. 何を録音するか選ぶ

チューナー
TUNER (放送)
CD
MD
AUX

CD

文字情報表示部に録音する入力ソースが表示されます

- すでにCDやMDが入っているときは、再生が始まりますので ■ キーを押して止めます。

5. 録音をはじめる



- ① 録音したい入力ソースを再生(受信)する
- ② 録音を始める

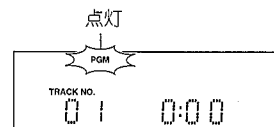
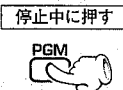
- 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に停止します。

曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

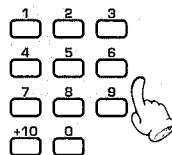
入力切換を"CD"にする

1 "PGM"表示を点灯させる



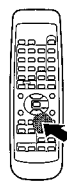
2 聴きたい順に曲を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ

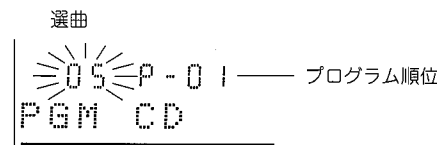


(8秒以内に手順②へ)

② 確定する



(2曲以上選ぶときは手順①、②を繰り返す)



数字キーを押す順序は

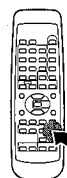
23曲目なら [+10] [+10] [3]
40曲目なら [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、CLEAR DELETEキーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- プログラム時間の合計が100分以上になると、時間表示が"--:--"になります。

3 再生する

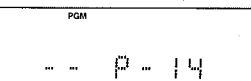


再生を停止する



プログラムした曲を取り消すには

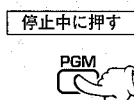
後から順に消していく



(P-14が取り消されたとき)

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

全部消す



- プログラムの内容が、全部消えます。

繰り返し聴く(リピート再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

入力切換を"CD"にする

一曲を繰り返し聴く時の設定

① "PGM"表示の消灯を確認する



("PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。)

消灯を確認する



② "REPEAT"を選ぶ



押すたびに切り換わりします。

- ① "REPEAT"
- ② "REPEAT ALL"
- ③ 消灯.....リピート解除



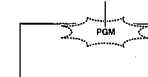
全曲を繰り返し聴く時の設定

① "PGM"表示の消灯を確認する



("PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。)

消灯を確認する



② "REPEAT ALL"を選ぶ



押すたびに切り換わりします。

- ① "REPEAT"
- ② "REPEAT ALL"
- ③ 消灯.....リピート解除



選んだ曲だけを繰り返し聴く時の設定

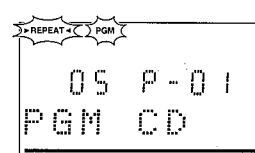
① 曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)の手順②までを行い、聴きたい曲をプログラムする



② "REPEAT"を選ぶ



"REPEAT"、"PGM" 点灯



- 選んだ曲全部を繰り返します。

再生する



繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを解除になるまで押します。

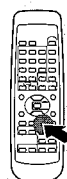
- "REPEAT"、"REPEAT ALL"表示が消灯し、CDプレイヤーのモードに従った再生に戻ります。

ランダム再生を楽しむ

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

入力切換を"CD"にする

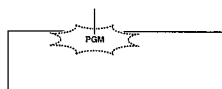
1 "PGM"表示の消灯を確認する



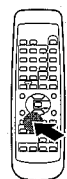
("PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。)



消灯を確認する

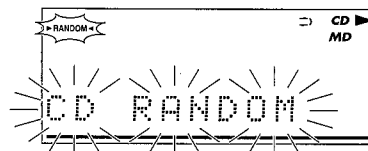


2 RANDOMキーを押す



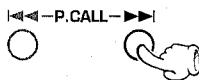
押すたびに切り換わります。

- ① "RANDOM"点灯 ランダム再生する
- ② "RANDOM"消灯 通常の再生



- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPERTキーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには



- ◀◀キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

"RANDOM"表示を消灯させる



- "RANDOM"表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

MDを聴く

曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)

好きな曲を、好きな順序で聴くことができます。(最大32曲)

入力切換を"MD"にする

1 "PGM"表示を点灯させる



停止中に押す

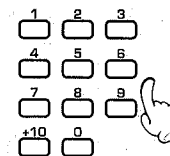


点灯



2 聴きたい順に曲を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ



(8秒以内に手順②へ)

② 確定する

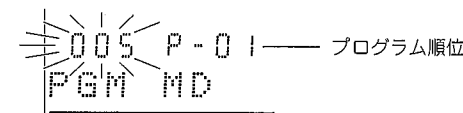


(2曲以上選ぶときは手順①、②を繰り返す)

3 再生する



選曲



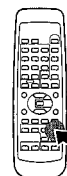
数字キーを押す順序は

23曲目なら **+10 +10 3**
40曲目なら **+10 +10 +10 +10 0**

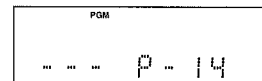
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、CLEAR DELETEキーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- 極端に短い曲はプログラムできません。
- プログラム時間の合計が100分以上になると、時間表示が"--:--"になります。

- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に ◀◀ または ▶▶ キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に ◀◀ キーを一回押すと、その曲の最初に戻ります。

再生を停止する



後ろから順に消していく

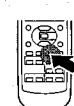


(P-14が取り消されたとき)

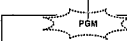
- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラムした曲を取り消すには

全部消す



消灯



- プログラムの内容が、全部消えます。

繰り返し聴く (リピート再生)

お気に入りの曲を繰り返し聴くことができます。

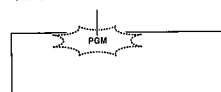
入力切換を"MD"にする

全曲を繰り返し聴く時の設定

- ① "PGM"表示の消灯を確かめる
("PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。)



消灯を確かめる



- ② "REPEAT ALL"を選ぶ



押すたびに切り換わります。

- ① "REPEAT ALL" 点灯
② 消灯.....リピート解除

点灯



選んだ曲だけを繰り返し聴く時の設定

- ① "曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)"の手順②までを行い、聴きたい曲をプログラムする

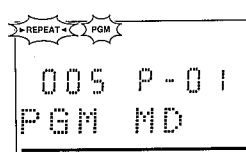


→ 37

- ② "REPEAT"を選ぶ



"REPEAT"、"PGM" 点灯



- 選んだ曲全部を繰り返します。

再生する



繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを解除になるまで押します。

- "REPEAT"、"REPEAT ALL"表示が消灯し、MDレコーダーのモードに従った再生に戻ります。

便利な録音あれこれ

録音のタイプを選ぶ

本機では、通常の録音の他に次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください



本機ではメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。

CDの録音を簡単にしたい時は

ワンタッチ録音 (CD→MD、CD→TAPE)

→ 40

ワンタッチ録音 (全曲録音)

CDの全曲を、MDまたはテープのいずれかに、ワンタッチ録音ができます。

ワンタッチ録音 (一曲録音)

その時に聴いているCDの曲だけを、MDまたはテープのいずれかに、ワンタッチ録音ができます。
(初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。)

- MDからテープへの"ワンタッチ録音"はできません。

CDを、MDとテープに同時録音がしたい時は

MDとテープに同時録音 (TWIN REC) (CD→MD、TAPE)

→ 41

TWIN REC (全曲同時録音)

CDの全曲を、MDとテープに同時に録音できます。

TWIN REC (一曲同時録音)

その時に聴いているCDの曲だけを、MDとテープに同時に録音できます。
(初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。)

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたい時は

プログラム録音 (CD→MD、CD→TAPE、MD→TAPE)

→ 42 → 43

プログラム録音

プログラムした曲順で録音します。
(CDまたは、MDの曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。)
"ワンタッチ録音"または、"MDとテープに同時録音 (TWIN REC)"と組み合わせての録音もできます。



テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープのぶんだけ曲が録音されません。
曲が途切れないように録音したいときは、片面録音をご利用ください。

ワンタッチ録音 (CD→MD/CD→TAPE)

CDの全曲を、ワンタッチで録音できます。(全曲録音)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。(一曲録音)

MDレコーダー、カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

CD→MDのとき

- ① MDレコーダーに、録音可能なディスクを入れる
- ② CDプレーヤーにディスクを入れる

CD→TAPEのとき

- ① "テープに録音する"の手順 1.~3.までを行なう
→ 32
- ② CDにディスクを入れる

2 CDの再生状態を確認する

ワンタッチ録音(全曲録音)

再生中の時は停止させる



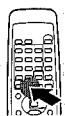
ワンタッチ録音(一曲録音)

好きな曲を選びCDを再生する



"ワンタッチ録音(一曲録音)"を使用して他の曲を録音するには、手順 2、3 を繰り返します。

3 録音を始める



- 録音開始する時は、リモコンの MD O.T.E. キーと TAPE O.T.E. キーは、間違えないようにしてください。
- "ワンタッチ録音(一曲録音)"をした時は、MD O.T.E. または、TAPE O.T.E. キーを押すと、再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。
- 本体で操作する場合は"MDとテープに同時録音 (TWIN REC)"の手順 2 を参照してください。

→ 41

録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

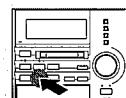
録音が終わったら、必ずディスクを取り出してください。

録音が終了すると.....

MDレコーダー : 停止します。
カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

録音が終わったら、必ずディスクを取り出してください。

MDとテープに同時録音 (TWIN REC) (本体のみ)

CDの全曲を、MDとテープに同時に録音できます。(全曲同時録音)

今聴いている曲だけを、曲の最初からMDとテープに同時に録音できます。(一曲同時録音)

MDレコーダー、カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

- ① MD : "MDに録音する"の手順 1.を行なう → 30
TAPE : "テープに録音する"の手順 1.~3.までを行なう → 32
- ② CDプレーヤーにディスクを入れる

2 CDの再生状態を確認する

TWIN REC(全曲同時録音)

再生中の時は停止させる



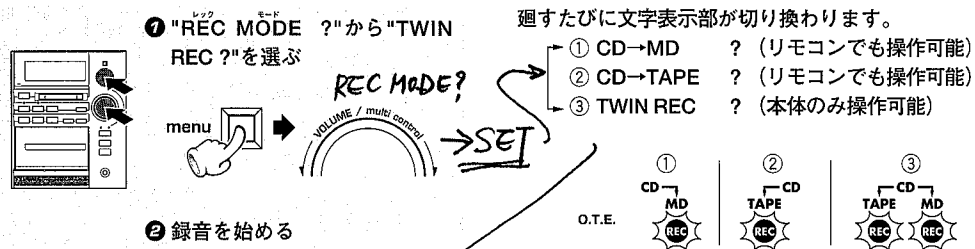
TWIN REC(一曲同時録音)

好きな曲を選びCDを再生する



"TWIN REC(一曲同時録音)"を使用して他の曲を録音するには、手順 2、3 を繰り返します。

3 録音を始める



録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

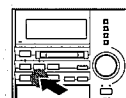
録音が終わったら、必ずディスクを取り出してください。

録音が終了すると.....

MDレコーダー : 停止します。
カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

録音が終わったら、必ずディスクを取り出してください。

録音が終了すると.....

MDレコーダー : 停止します。
カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

プログラム録音(CD→MD/CD→TAPE)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDまたはテープに録音することができます。

録音の準備が必要です- [30] - [32] (MDレコーダー、カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。)

1 CDの曲順をプログラムします

CD→MDのとき

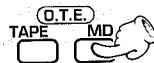
CDの"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順①~②を行う。 - [34]

CD→TAPEのとき

CDの"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順①~②を行う。 - [34]

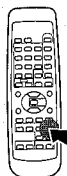
- 編集した内容を取り消すには、PGMキーを押すと、編集内容のすべてが消えます。
- MDやテープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

2 録音を開始する



- プログラムした曲順に録音を開始します。
- 録音開始する時は、リモコンの MD O.T.E. キーと TAPE O.T.E. キーは、間違えないようにしてください。
- 本体で操作する場合は"MDとテープに同時録音 (TWIN REC)"の手順②を参照してください。 - [41]

録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)



録音が終わったら、必ずディスクを取り出してください。

録音が終了すると.....

MDレコーダー : 停止します。
カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

プログラム録音(MD→TAPE)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをテープに録音することができます。

録音の準備が必要です- [32] (カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。)

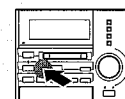
1 MDの曲順をプログラムします

MD→TAPEのとき

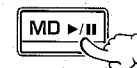
MDの"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順①~②を行う。 - [37]

- 編集した内容を取り消すには、PGMキーを押すと、編集内容のすべてが消えます。
- テープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

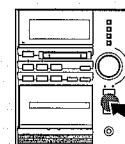
2 プログラム再生を始める前に一時停止にする



(2回押す)



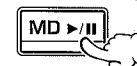
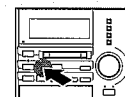
3 録音一時停止状態にする



(2回押す)

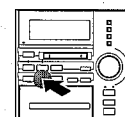


4 録音を開始する



- MDのプログラム再生を始めるとシンクロ録音がスタートします。

録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

録音が終了すると.....

カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。

編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つまみを「録音可能」側にしてください。 → 64

ミニディスクや曲にタイトルをつける

→ 45

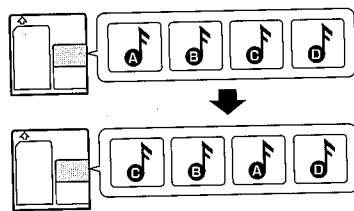
タイトルを変更、消去する

→ 47

曲順の入れ替え

曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE) → 48

曲順を1曲ずつ入れ替える (TRACK MOVE) → 50

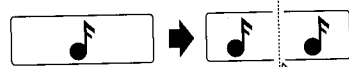


曲の分割と結合

曲を分ける (TRACK DIVIDE) → 52

曲をつなぐ (TRACK COMBINE) → 53

曲の分割

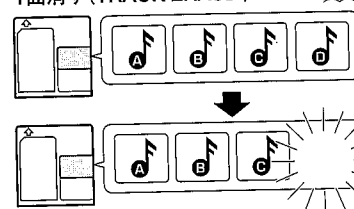


曲の結合

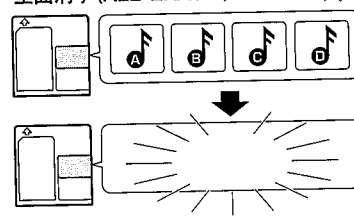


曲の消去

1曲消す (TRACK ERASE) → 54



全曲消す (ALL ERASE) → 54

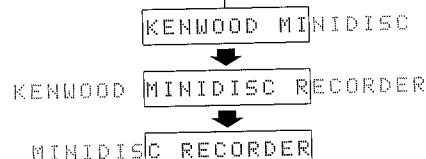


表示部のスクロールについて

ミニディスクや曲のタイトルなど、情報の量が多すぎると表示部に入りきらないことがあります。このようなときは、表示部の文字が右から左に流れて、それまで見えなかった内容が現れます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。

スクロールのイメージ

表示される範囲 (全体を表示できない)



ミニディスクや曲にタイトルをつける

ミニディスクや曲にタイトルをつけておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)ができます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

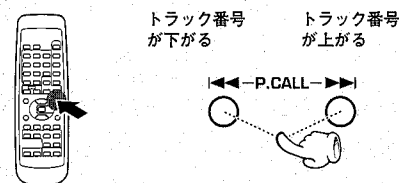
MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

停止、または再生中に操作してください

1 タイトル入力状態にする



2 曲(トラック番号)を選ぶ



3 確定する



(中止するときは、TITLE INPUTキーを押します。)

ディスクタイトルをつける場合は停止状態で行ないます。曲にタイトルをつける際、手順 7-9 の前に MD ▶/II キーを押すと、その曲を聴きながらタイトルを入力することができます。

●ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。



ディスクタイトルのとき

'disc'の表示にします



トラックタイトルのとき

目的のトラック番号を選びます

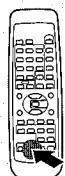


入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(CLEAR DELETE)をご利用ください。 → 47

2 タイトルを入力する

① 入力する文字のグループを選ぶ



DOT/CHARA.

② 目的の文字を選択カーソルに合わせる


 ◀◀ P.CALL ▶▶
 戻る 進む

③ 選んだ文字を確定する



(①~③を繰り返して、タイトルを入力します。)

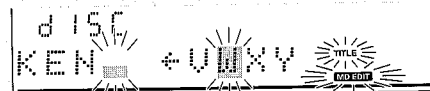
次のような種類の文字や数字、記号が選べます。
 DOT/CHARA. キーを何回か押して、目的の文字グループの表示にします。

- A~Z と、スペース(1文字分の空白)
- a~z と、スペース
- 0~9 と、各種記号と、スペース
- カタカナと、スペース



● ◀◀、▶▶ キーを押すと表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。

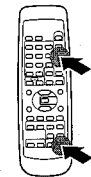
ミニディスクタイトルの例



カーソルが移動、次の文字入力待ち

3 タイトル入力を実行する

① タイトルを書き込む

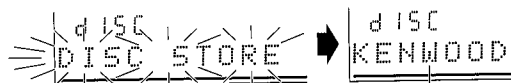


ENTER

② 終了する



TITLE INPUT



◀タイトルがスクロールします

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す



ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

タイトルを変更、消去する

MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。
 タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

1 "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の、手順 1 を行なう

→ 45

2 1文字ずつ変更していく

① カーソルを変更する文字に合わせる



② 文字グループを選ぶ



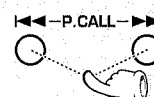
DOT/CHARA.

③ "上書き"または"挿入"モードを選ぶ



TITLE SEARCH

④ 正しい文字を選ぶ

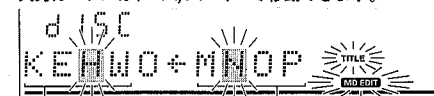


⑤ 文字を確定する



SET

入力カーソルは、◀◀、▶▶ キーで移動できます。



カーソル移動エリア

文字群

TITLE SEARCHキーを押すたびに切り換わります。

- ① 上書きモード：文字を入れ替えるとき
(カーソル "■" が大きくなる)
- ② 挿入モード：カーソルの前に文字を入力するとき
(カーソル "■" が小さくなる)

● 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、◀◀、▶▶ キーを押していくと表示がスクロールし、それまで表示されていなかった部分が現れます。

消去(削除)するとき

- ① カーソルを消去(削除)する文字に合わせる
- ② 文字を消去(削除)する



● カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または押したままにする)と、簡単にタイトルを消去できます。

3 タイトルの変更を実行する

① タイトルを書き込む



ENTER

② 終了する



TITLE INPUT



タイトルがスクロールします

曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE)

並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ替えます。

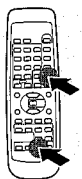
一回の処理で入れ替えられるのは、連続する20曲の範囲です。

各操作は表示が点滅中に行ってください。

停止中に操作してください

1 QUICK MOVE キーを押す

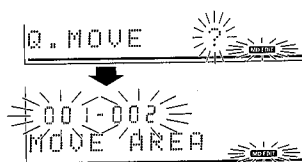
① QUICK MOVE キーを押す



② 確定する



中止するときは、もう一度 QUICK MOVE キーを押します

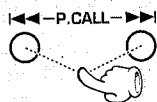


2 入れ替える範囲を決める

① 入れ替え範囲の最初の曲を選ぶ

トラック番号
が下がる

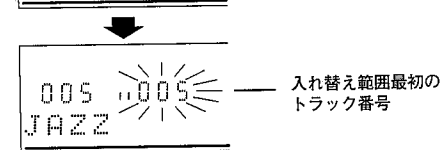
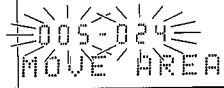
トラック番号
が上がる



② 入れ替え範囲を確定する



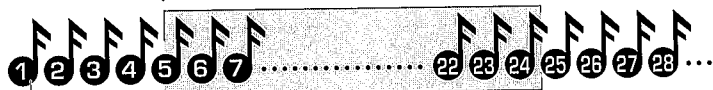
曲(トラック番号)
20曲 (入れ替えできる範囲)



入れ替え範囲最初の
トラック番号

曲順をまとめて入れ替えるイメージ

入れ替え範囲最初のトラック番号



曲(トラック番号)

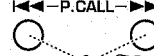
20曲 (入れ替えできる範囲)

3 希望の曲順に並べ替える

① 曲(トラック番号)を選ぶ

トラック番号
が下がる

トラック番号
が上がる



② 確定する



(手順①と②を繰り返して、希望の曲順に並べます。)

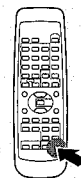
トラック番号7番の曲を5番に移動するとき

移動先のトラック番号



移動元のトラック番号

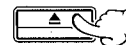
4 曲順の入れ替えを実行する



COMPLETE !

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE!"表示の点滅中に▲(イジェクト)キーや、1/2キーを押すと、並べ替えが途中で中断されることがあります。

5 編集終了後、ミニディスクを取り出す



MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。
タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

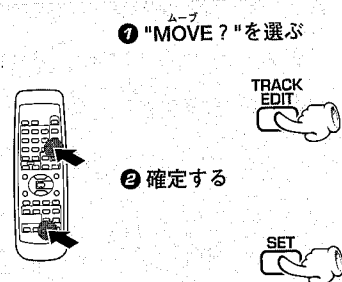
曲順を一曲ずつ入れ替える (TRACK MOVE)

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。

各操作は表示が点滅中に行ってください。

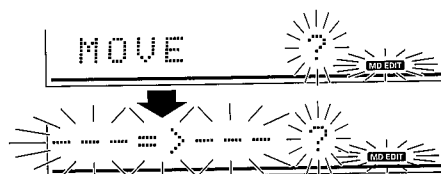
停止中に操作してください

1 "MOVE ?"を選ぶ

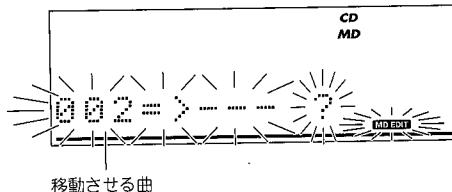
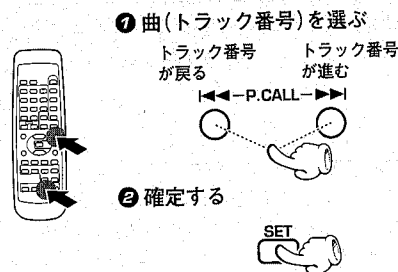


押すたびに切り換わります。

- ① MOVE?
- ② COMBINE?
- ③ ALL ERASE?
- ④ 編集解除

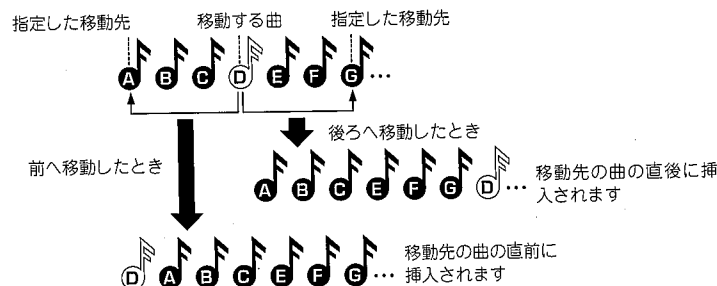


2 移動する曲を選ぶ

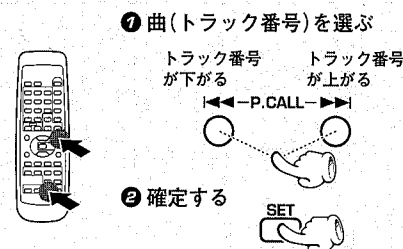


移動させる曲

曲を移動するイメージ



3 移動先を選ぶ



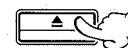
移動先のトラック番号



4 曲順の入れ替えを実行する



5 編集終了後、ミニディスクを取り出す



MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

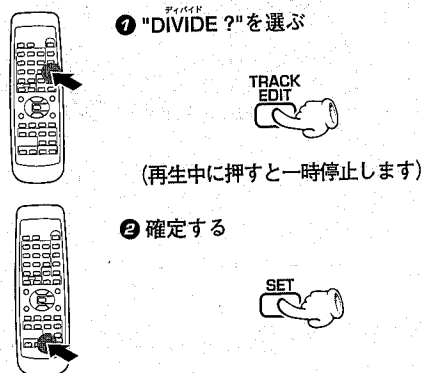
曲を分ける (TRACK DIVIDE)

曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。

各操作は表示が点滅中に行ってください。

1 分割したい曲を再生する

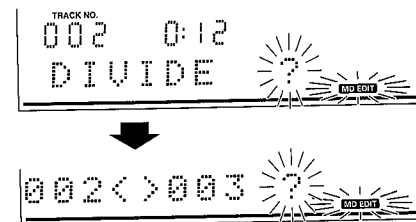
2 希望の所でTRACK EDITキーを押す



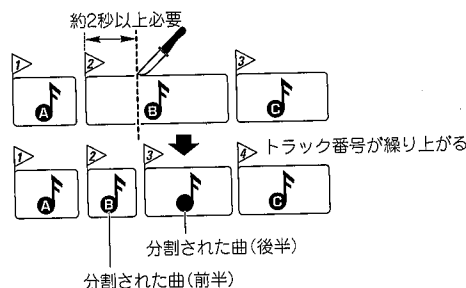
●一時停止中にも編集できます。

押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE?
- ② COMBINE?
- ③ ERASE?
- ④ 編集解除



3 曲の分割を実行する



COMPLETE !

(1~3を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。)

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

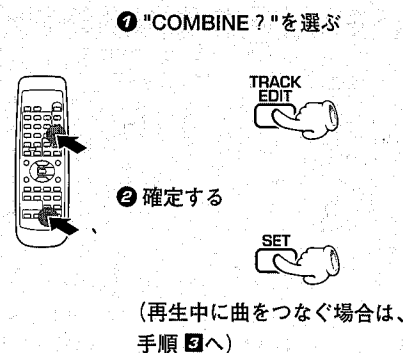
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- 分割する曲にタイトルが付けられているときは、2つの曲が同じタイトルになります。

曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

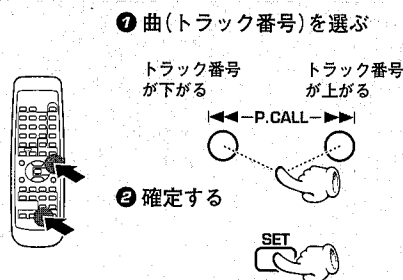
トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

各操作は表示が点滅中に行ってください。

1 "COMBINE?"を選ぶ



2 つなぎたい曲を選ぶ



3 曲と曲の結合を実行する



タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクの最初の曲の再生中には"COMBINE?"を選べません。

停止中

押すたびに切り換わります。

- ① MOVE?
- ② COMBINE?
- ③ ALL ERASE?
- ④ 編集解除

再生中

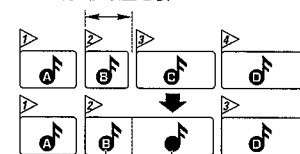
- ① DIVIDE?
- ② COMBINE?
- ③ ERASE?
- ④ 編集解除

- 再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、後半となる曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。

2曲目と3曲目をつなぐ場合



約2秒以上必要



前半部のトラック番号とタイトルが残る

後半部のトラック番号とタイトルは消える

COMPLETE !

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

一曲消す (TRACK ERASE) または全曲消す (ALL ERASE)

一曲消す場合 (TRACK ERASE)

再生中にその曲のみ消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調整されます。消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

全曲消す場合 (ALL ERASE)

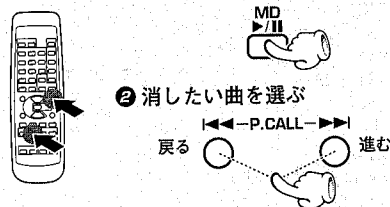
停止中に全曲消去することができます。ミニディスク全体を消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

各操作は表示が点滅中に行ってください。

1 準備をする

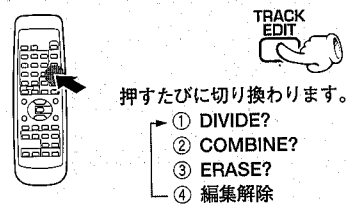
一曲消す (TRACK ERASE) のとき

① 再生状態にする



2 ERASEモードを選ぶ

"ERASE ?" を選ぶ



押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE?
- ② COMBINE?
- ③ ERASE?
- ④ 編集解除



3 消去を実行する



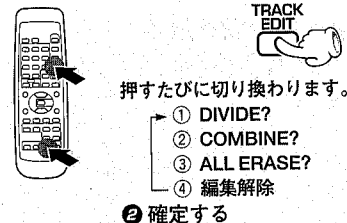
● 曲が消去されます。(トラックタイトル含む)

全曲消す (ALL ERASE) のとき

(停止状態にします)



① "ALL ERASE ?" を選ぶ



押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE?
- ② COMBINE?
- ③ ALL ERASE?
- ④ 編集解除

② 確定する



● ◀▶ キーでトラック番号を選んで、トラックを消去することもできます。



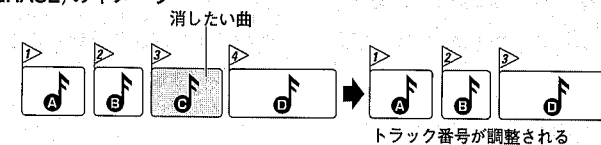
● ミニディスクの全曲が消去されます。(ディスクタイトル含む)

MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

1曲消す (TRACK ERASE) のイメージ



曲の一部分を消す

- ① 曲を分ける (TRACK DIVIDE) 機能を使って、消したい部分だけを1つの曲にする。
 - ② 1曲消す (TRACK ERASE) 機能を使って、消去する。
- この手順を使って、目的の部分だけを消去することができます。

① 消したい部分を1つの曲にする



曲を分ける (TRACK DIVIDE) 機能を使って、消したい部分だけで1つの曲になるように、編集してください。

曲を分ける (TRACK DIVIDE)

→ 52

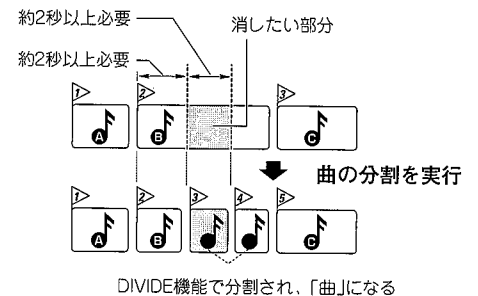
② 消したい部分を消去する



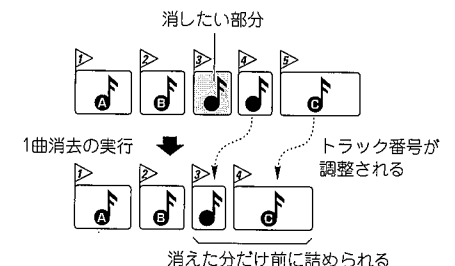
1曲消す (TRACK ERASE) 機能を使って、手順①で作った「曲」(消したいところ)を消去してください。

1曲消す (TRACK ERASE)

→ 54

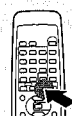


- 曲の前半や後半だけを消去する場合は、1か所だけ TRACK DIVIDEを行ってください。



音質の調整

低音域と高音域の調整をします。(リモコンでのみ操作可能)



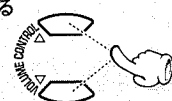
① 音域を選びます



(5秒以内に手順②へ)



② 調整する



(他の音域を選ぶ時は手順①、②を繰り返します)

押すたびに切り換わります。

① "BASS"(低音域)を調整

BASS -6

② "TREBLE"(高音域)を調整

TREBLE +4

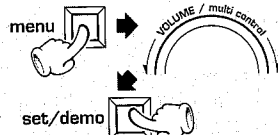
③ 通常状態

- "BASS"、"TREBLE"とも2ステップ毎に、-8~+8の範囲で調整できます。
- "LOUD"または"EX.BASS"表示が点灯中に音質の調整をすると表示は消灯し解除されます。

バランスの調整

左右の音量バランスを調整します。(本体でのみ操作可能)

① "BALANCE ?"を選ぶ

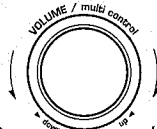


("?"マークが点滅中に"set/demo"キーを押す)

② 調整する



①



右の音が小さくなる

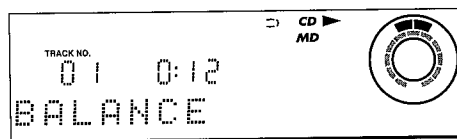
左の音が小さくなる

② 確定する

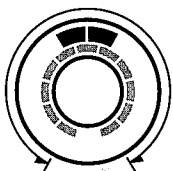


廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

TAPE RVS. ?
REC MODE ?
ケンメイセッテイ ?
(入力切換がチューナーの時のみ)
AUX LEVEL ?
(入力切換が外部入力の時のみ)
BALANCE ?
TIMER SET ?
A.P.S. SET ?



右の音が小さくなる



左の音が小さくなる

- CLOCK表示部の外周部でバランスを表示します。
- "VOLUME/multi control (up/down)"つまみでの調整量に合わせて、表示が変化します。

AUXインプットレベルの調整

AUX入力端子に接続された外部機器(ビデオデッキ等)からの入力レベルを調整します。CD,MD等と同じくらいの大きさで聞こえるように、調整してください。(本体でのみ操作可能)

① AUX (外部入力)を選ぶ

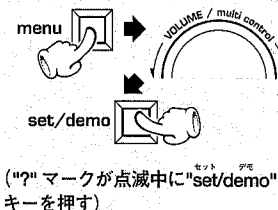
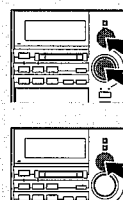


① AUX (外部入力)を選ぶ



② 接続した機器を再生してみる

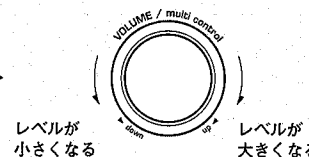
② "AUX LEVEL ?"を選ぶ



("?"マークが点滅中に"set/demo"キーを押す)

③ 調整する

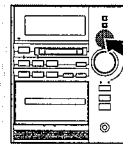
① インプットレベルを調整する



レベルが小さくなる

レベルが大きくなる

② 確定する



廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

TAPE RVS. ?
REC MODE ?
ケンメイセッテイ ?
(入力切換がチューナーの時のみ)
AUX LEVEL ?
(入力切換が外部入力の時のみ)
BALANCE ?
TIMER SET ?
A.P.S. SET ?

INPUT +2

設定レベル (約5秒間表示)

- インプットレベルを調整するときは、"INPUT"の表示中におこないます。
- -6~+3の範囲で調整ができます。

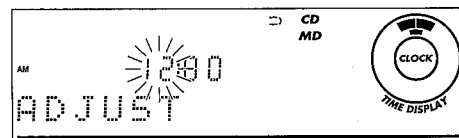
1 時刻合わせモードにする



(2秒以上押す)



- 設定時は、CLOCK表示部が点滅を始めます。



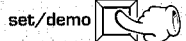
- 時間表示が点滅を始めます。

2 時間を合わせる

①

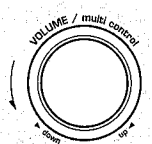


② 確定する



set/demo

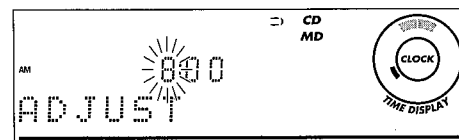
時間に戻る 時間が進む



時間に戻る

時間が進む

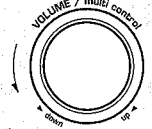
8時7分に合わせる例



- 時間は12時間表示で表示されます。
- "set/demo" キーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅を始めます。

3 分を合わせる

①



分に戻る

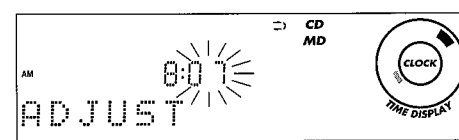
分が進む

② 確定する



set/demo

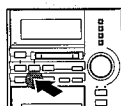
8時7分に合わせる例



- 間違えて押したときは、最初からやり直してください。
- 時報と同時に "set/demo" キーを押すと正確な時刻合わせができます。
- 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- "set/demo" キーを押して、設定が終了すると "COMPLETE!" と表示します。

時刻表示をさせるには

(スタンバイ状態のとき)



5秒間表示

- 時刻合わせが済むと ":" (コロン) が点滅します。
- 電源がオンのとき、AUXキーを押すと時刻を表示します。

タイマーを使う

オペレート イージー トゥー ユーズタイマー (Operate easy To use Timer: O.T.T.):

指定の時刻に、選んだ入力ソースの再生が始まり、1時間経つと電源がオフになります。設定直後の1回だけ働きます。

タイマー再生、タイマー録音 (PROG.1, PROG.2):

設定した時間帯に、選んだソースを再生(または放送を録音)します。

AI タイマー再生 (PROG.1, PROG.2):

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなります。

おやすみタイマー (SLEEP):

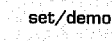
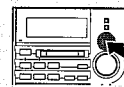
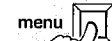
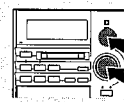
設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

"接続のしかた"を参照して、関連機器との接続を済ませてください。

O.T.T.を設定する

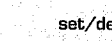
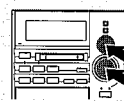
時刻をセットするだけのカンタンな操作で、タイマー再生ができます。電源をオフにする前に、最後に選ばれていたソースが再生されます。タイマー再生開始から1時間で、電源が自動的にオフになります。

- ① 聴きたいソースを選び、音量を設定する



("?" マークが点滅中に "set/demo" キーを押す)

- ② "O.T.T. SET ?" を選ぶ

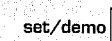


- ③ オン時刻をセットする

時刻に戻る

時刻が進む

- ④ 確定する



set/demo

廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

TAPE RVS.	?
REC MODE	?
ケンメイセッテイ	?
(入力切換がチューナーの時のみ)	
AUX LEVEL	?
(入力切換が外部入力の時のみ)	
BALANCE	?
TIMER SET	?
A.P.S. SET	?

廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

①	O.T.T. SET	?
②	PROG. 1 SET	?
③	PROG. 2 SET	?



オン時刻の表示

- オン時刻は、5分単位で設定できます。

O.T.T. を実行するには

"O.T.T.とプログラムタイマーの実行と解除"の、手順①と②を行います。

プログラムタイマーを設定する

2系統(プログラム1, PROG.2)の24時間タイマー(毎日働きます)です。

PROG.1, PROG.2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

1 聴く(録音する)ための準備をする

CDを聴く

ディスクを入れる
(プログラム再生はできません。)

MDを聴く

ミニディスクを入れる。
(プログラム再生はできません。)

テープを聴く

テープをセットする。

放送局を聴く

放送局をプリセットしておく。
- [27]

外部入力ソースを聴く

AUX端子に接続した機器のタイマー設定をする。

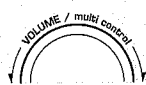
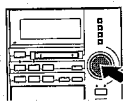
録音する

録音の準備をする。

MD → [30]
TAPE → [32]

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2種類を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

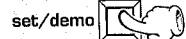
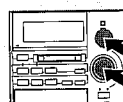
2 音量を調節する



- タイマーで録音するとき、タイマーがオンになると、自動的にMUTEがオンになります。

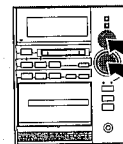
3 プログラム番号を選ぶ

① "TIMER SET ?"を選ぶ



("?"マークが点滅中に"set/demo"キーを押す)

② "PROG. 1 SET ?"または"PROG. 2 SET ?"を選ぶ



③ 確定する



(プログラム内容の表示中に押す)

廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

TAPE RVS. ?
REC MODE ?
ケンメイセッテイ ?
(入力切換がチューナーの時のみ)
AUX LEVEL ?
BALANCE ?
TIMER SET ?
A.P.S. SET ?

廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

① O.T.T. SET ?
② **PROG. 1 SET ?**
③ **PROG. 2 SET ?**

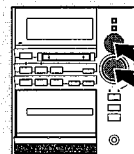
- 選んだプログラム番号が点灯します。
- すでに予約されているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。
- 前の設定内容を表示します。(変更しない場合は、そのまま"set/demo"キーを押してください)

4 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する

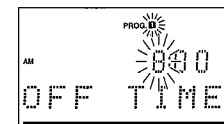
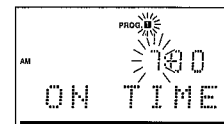
① 時刻を合わせる

時刻が戻る

時刻が進む



② 確定する



- オン時刻とオフ時刻ともに①、②の手順を行ない"時間"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。
- 間違えたときは手順②からやり直してください

5 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

① モードを選ぶ

プレイ

(1) "PLAY"または"AI PLAY"を選ぶ

(2) 決定する

② 入力ソースを選ぶ

(1) 何を聴くか選ぶ

(2) 決定する

③ 放送局を選ぶ(チューナー時のみ)

(1) プリセットチャンネルを選ぶ

(2) 決定する

① **PLAY** タイマー再生

② REC

③ **AI PLAY** だんだん音が大きくなる
タイマー再生

① **チューナー** 放送

② CD

③ MD

④ TAPE

⑤ **AUX** 外部入力(ビデオなど)

- "set/demo"キーを押して、設定が終了すると"COMPLETE!"と表示します。

タイマー録音をするとき

① モードを選ぶ

(1) "REC"を選ぶ

① **PLAY**
② **REC**
③ AI PLAY

(2) 決定する

② 入力ソースを選ぶ

(1) 何を録音するか選ぶ

① **チューナー** 放送
② **AUX** 外部入力

(2) 決定する

③ 放送局を選ぶ(チューナー時のみ)

(1) プリセットチャンネルを選ぶ

(2) 決定する

④ 録音する機器を選ぶ

(1) 選ぶ

① **MD REC**
② **TAPE REC**

(2) 決定する

- "set/demo"キーを押して、設定が終了すると"COMPLETE!"と表示します。

プログラムタイマーを実行するには

"O.T.T.とプログラムタイマーの実行と解除"の、手順①と②を行います。

O.T.T.とプログラムタイマーの実行と解除

1 働かせたいプログラム番号をセットする(リモコンのみ)



押すたびに切り換わります。

- ① O.T.T. O.T.T.のみ実行
- ② PROG.1 プログラム1のみ実行
- ③ PROG.2 プログラム2のみ実行
- ④ PROG.1, 2 プログラム1と2の両方を実行
- ⑤ 表示消灯 タイマー オフ

- 選んだプログラム番号が点灯します。
- プログラム番号をセットしないとタイマーは働きません。

2 スタンバイ状態にする



再び同じ内容のタイマーをセットする

セットしたいプログラム表示を点灯させる

電源がオンの時に押す



O.T.T. 点灯

- ディスク、テープの準備、音量の調節をしておきます。



予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

おやすみタイマー (SLEEP)

何分後に電源を切るかを設定します

時間を設定する



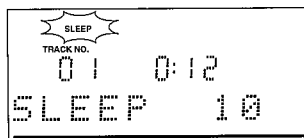
解除するには

電源をオフにする、またはSLEEPキーを解除にするまで押す

- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。
- 一回押すごとに10分ずつ増えていきます。最大90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20

点灯

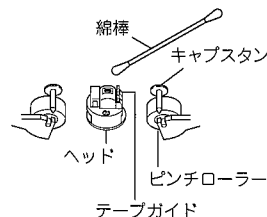


セットする時間

知っておきましょう

メンテナンス

ヘッドのお手入れ



ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。

クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。



ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

- ① CD、MDを取り出します。
- ② MDの▶/II キーを押す。

MD NO DISC

- ③ CDの▶/II キーを押す。
- ④ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

CD NO DISC

- ⑤ 数秒間待って、電源をオフにします。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容

時計表示
MDレコーダー部 → 68

電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容

アンプ部
電源の状態
(オンまたはスタンバイ)
ラストインプットセレクタ
ボリューム値
トーンコントロール値
AUXインプット値
バランスの設定
チューナー部
受信バンド
周波数
プリセット放送局
AUTO、MONOの設定
プログラムタイマーの設定
内容
カセットデッキ部
テープ走行方向
テープイコライザー
リバースモード

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にいたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開けたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

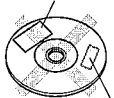
ディスクの取り扱い方

ディスク取扱上のご注意



取り扱い
再生面にふれないように持って
ください。

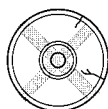
ラベル面
再生面



糊のベタつき

- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

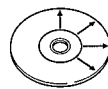
異常なディスクは使用しない



本機で使えるディスクについて

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CDアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

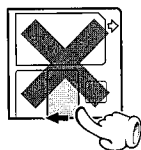
CD(12cm、8cm)、CDVとCD-G(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。ディスクラベル面にの  マークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

ミニディスクの取扱い方

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

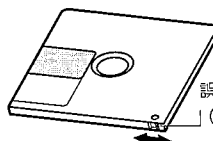
お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみ(WRITE PROTECT)を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

ミニディスク
裏面



誤消去防止つまみ
(WRITE PROTECT)

孔を開く
(録音禁止)

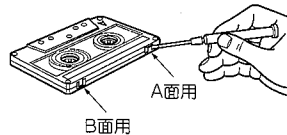
孔をふさぐ
(録音可能)

- 録音禁止にすると、ドット表示部に"PROTECTED"と表示します。

カセットテープについてのご注意

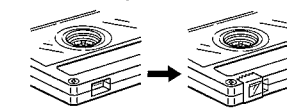
誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。



A面用

B面用



再び録音するには

ツメを折った所だけにテープをはる。



1.110分以上のテープについて

110分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいので、ご使用は避けください。

カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



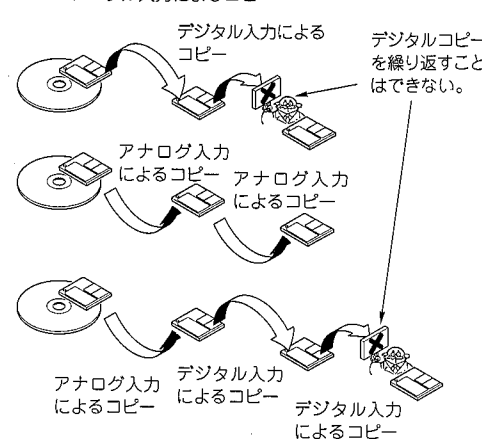
2.エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

デジタル録音とSCMSについて

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。市販の音楽ソフト(CD、MD等)にコピー禁止コードがついている場合は、デジタル録音できません。

デジタル入力によるコピー



あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記をお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号

東京オペラシティタワー11F

電話 (03) 5353-0336

FAX. (03) 5353-0337

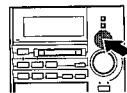
調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのとき接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因によりマイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、
"set/demo"キーを押しながら、差し込み直す。



set/demo

アンプ部・スピーカー部

症 状	原 因	処 置	参照
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●音量を最小にしている。 ●MUTEがオンになっている。 ●ヘッドホンプラグが差込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●適当な音量にする。 ●MUTEをオフにする。 ●ヘッドホンプラグを抜く。 	<p>→ 8</p> <p>→ 17</p>
"standby/timer"の表示が点滅し、音が出ない。	●スピーカーコードがショートしている。	●一時 電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度 電源スイッチを入れる。	
ヘッドホンから音がでない。	●差し込みが不完全。	●正しく差し込む。	→ 17
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●バランスの設定が片寄っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●左右のバランスを調節する。 	<p>→ 8</p> <p>→ 66</p>

チューナー部

症 状	原 因	処 置	参照
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻をもう一度合わせる。 ●現在時刻をもう一度合わせる。 	→ 68
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻を合わせていない。停電があった。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。 ●タイマーの実行指定をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 ●リモコンのTIMERキーで実行指定する。 	→ 61
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 	<p>→ 8</p> <p>→ 26</p>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。 	
プリセットしたあと、P.CALLキーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。 	→ 27

MDレコーダー部(MD規格上の症状)

症 状	原 因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	●256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。)このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分)と一致しない。	●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	●新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
モノラル録音されたミニディスクのとき、時間表示が不正確になる。	●モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

MDレコーダー部(その他の症状)

症 状	原 因	処 置	参照
再生キーを押しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ミニディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクを入れる。 ●録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。 	→ 64
録音ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●録音レベルが低い。(AUX使用時) ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●入力切換えがMDになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 ●録音できません。 ●AUXインプットレベルを調節する。 ●録音用ミニディスクを入れる。 ●ミニディスクを入れ換える。 ●入力切換えを録音したいソースにする。 	<p>→ 64</p> <p>→ 30</p>
音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルの設定をしていない。(AUX使用時) ●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●AUXインプットレベルを調節する。 ●再度録音をする。 	
雑音が大きい	●外部の雑音を誘導している。	●電気器具、テレビなどから離す。	
電源オン後、表示が一瞬消える	●電源をオフにして、すぐにオンにした。	●故障ではありません。	

MDレコーダー部(メッセージ表示の一覧)

ディスプレイ表示	意味	処置	参照
MD NO DISC <small>ミニディスク ノー ディスク</small>	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。	
CAN'T COPY <small>コピー</small>	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●アナログ録音に切り替える。	
DISC FULL <small>ディスク フル</small>	●録音可能なエリアがない。 ●256曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●一枚のディスクには256曲以上録音できません。	
TITLE FULL <small>タイトル フル</small>	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。	→ [45]
BLANK DISC <small>ブランク ディスク</small>	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。	
NO TRACKS <small>ノー 트랙ス</small>	●曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	●そのまま録音して問題ありません。	
READING <small>リーディング</small>	●TOC*1 情報を読んでいます。	●故障ではありません。	
WRITING <small>ライティング</small>	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。	
DISC ERROR <small>ディスク エラー</small>	●UTOC*2 の内容が異常である。	●"ALL ERASE"を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。	→ [54]
CAN'T EDIT <small>キャンット エディット</small>	●長さが短すぎる曲など、制限を超えて編集しようとしている。	●制限範囲内で編集する。	
? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	●ENTERキーを押すと、編集が実行されます。	
PROTECTED <small>プロテクト</small>	●ミニディスクが"録音禁止"されている。	●"録音可能"にする。	
PLAY ONLY <small>プレイ オンリー</small>	●再生専用のミニディスクである。	●録音用ミニディスクを入れる。	→ [64]
UNIT ERROR <small>ユニット エラー</small>	●何らかのトラブルを示します。	●電源をいったんオフにし、再びオンにすると、通常の状態に戻ります。	

本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基く許諾製品です。

*1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

*2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

MDレコーダー部のメモリーバックアップについて

電源コンセントからプラグを抜くとメモリーは記憶されません。停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

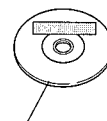
CDプレーヤー部

症状	原因	処置	参照
ディスクを入れても再生できない。	●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクがずれている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズに露がついている。	●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●ディスクを正しく入れ直す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●"結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。	→ [64] → [63]
音が出ない。	●ディスクが入っていない。 ●再生状態になっていない。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。	●ディスクを入れる。 ●再生(▶/II)キーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。	→ [64]
音とびがする。	●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に震動が加わっている。	●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●震動のない場所に設置する。	→ [64]

リモコン部

症状	原因	処置	参照
リモコンで操作できない。	●電池切れ。 ●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ●再生しようとする機器に、CD、MD、またはカセットテープが入っていない。	●新しい電池に入れ換える。 ●操作範囲内で操作する。 ●再生しようとする機器にCD、MD、またはカセットテープを入れる。	→ [15] → [15]

レンタルCD、中古CDの取り扱いについて



クランピングエリア

- 図の様なクランピングエリアにシールが貼られている様なディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
- シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

カセットデッキ部

症 状	原 因	処 置	参照
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが汚れている。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●未録音テープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ●テープを交換してみる。 ●録音済みテープを使う。 	- 63
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●カセットホルダーを開けて、すぐ操作キーを押している。 ●電源を入れてから、4秒以内に操作キーを押している。 ●テープが入っていない。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホルダーを完全に閉める。 ●ホルダーを開けてから何秒か待って操作キーを押す。 ●4秒以上たってから操作キーを押す。 ●テープを入れる。 ●テープを交換してみる。 ●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 	- 24 - 24 - 24
<small>プッシュ オープン</small> ▲ push OPEN のマークを押してもホルダーが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中、または再生中に押している。 ●外部からの雑音によりマイコンが誤動作した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●停止状態で押す。 ●マイコンをリセットしてください。 	- 66
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが汚れている。 ●テープがのびたり、ワカメ状になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ●テープを交換する。 	- 63
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルの設定をしていない。(AUX使用時) ●ひずんだ音で録音されたテープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●AUXインプットレベルを調節する。 ●テープを交換する。 	
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが磁気を帯びている。 ●外部の雑音を誘導している。 ●ドルビー録音されたテープを、テープイコライザーをオフで再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみて消磁する。 ●電気器具、テレビなどから離す。 ●テープイコライザーをオンにする。 	- 63 - 25
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> ●キャブスタン、ピンチローラーが汚れている。 ●テープに巻き取りムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ●テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。 	- 63 - 25
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットテープのツメが折れている。 ●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●入力切換が、TAPEになっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 ●ホルダーを完全に閉める。 ●入力切換を録音したいソースにする。 ●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 	- 65 - 24 - 33 - 24

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

SE-5MD/SE-500MD/SE-55MD/SE-50KS (J)

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の"ケンウッドサービス網"をご覧ください。)

修理をご依頼になるときは

"故障かな?と思ったら"に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをご知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 ()